

大学番号：050

注3

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

意見伺い

滋賀大学 データサイエンス学部

注2

## 【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人滋賀大学  
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 課長 カメ オカ フミ タカ  
亀岡文孝

電話番号 0749-27-1003

（夜間） 0749-27-1003

F A X 0749-27-1129

e-mail soumu-c@biwako.shiga-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## データサイエンス学部

＜データサイエンス学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	21
6. 留意事項等に対する履行状況等	45
7. その他全般的事項	48

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 滋賀大学

## (2) 大学名

滋賀大学

## (3) 大学の位置

〒522-8522  
滋賀県彦根市馬場1丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長			
学長	(イ リュウイチ) 位田 隆一 (平成28年4月)		
学部長	(タケムラ アキミ) 竹村 彰通 (平成29年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
データサイエンス学部 データサイエンス学科 学士(データサイエンス)	経済学関係 工学関係	4年	100人	年次 0人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	100人 100 ( ) [ ]	—人 — ( ) [ ]	100人 100 ( ) [ ]	—人 — ( ) [ ]	人 人 ( ) [ ]	人 人 ( ) [ ]	人 人 ( ) [ ]	人 人 ( ) [ ]	1.09倍	
志願者数	406 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	330 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
受験者数	311 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	237 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
合格者数	121 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	116 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
B 入学者数	110 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	108 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.10		1.08							

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	110 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	108 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )					
2年次	/		109 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )					
3年次	/		/						
4年次	/		/		/				
計	110 [ - ] ( - )		217 [ - ] ( - )						

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成29年度	110 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	217 人	1 人	平成29年度	1 人	0 人	本学他学部への転学部
			平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
合 計	217 人	1 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{110} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{217} = \boxed{0.46} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<データサイエンス学部 データサイエンス学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	データサイエンス入門	1前	2			1						
人文科学分野	哲学からの問い	1,2,3,4	2									2
	歴史からの問い	1,2,3,4	2									2
	文学からの問い	1,2,3,4	2									2
	論理の世界	1,2,3,4	2			1						2
	自然言語の世界	1,2,3,4	2									1
	人間と倫理	1,2,3,4	2									2
	人間と経済	1,2,3,4	2									3
	人間と心理	1,2,3,4	2									2
	日本の歴史	1,2,3,4	2									1
	欧米の歴史	1,2,3,4	2									1
	欧米の文学	1,2,3,4	2									1
	美術の世界	1,2,3,4	2									3
	音楽の世界	1,2,3,4	2									3
	文化への問い	1,2,3,4	2									1
芸術と文化	1,2,3,4	2									3	
言語と文化	1,2,3,4	2									5	
教育と文化	1,2,3,4	2									3	
東アジアの多様性の理解	1,2,3,4	2										1
社会科学分野	経済学からの問い	1,2,3,4	2									6
	経営学からの問い	1,2,3,4	2									3
	法学からの問い	1,2,3,4	2									1
	政治学からの問い	1,2,3,4	2									1
	人間と社会	1,2,3,4	2									2
	社会の比較	1,2,3,4	2									2
	教育と社会	1,2,3,4	2									2
	現代社会をみる目	1,2,3,4	2									2
	日本国憲法	1,2,3,4	2									1
	現代社会と政治	1,2,3,4	2									2
	現代社会と法	1,2,3,4	2									2
	私法の世界	1,2,3,4	2									2
	日本社会の法と政治	1,2,3,4	2									1
	経済学と現代	1,2,3,4	2									2
	現代の企業と経営	1,2,3,4	2									3
	社会と会計	1,2,3,4	2									6
	組織と会計	1,2,3,4	2									1
	現代の諸問題	1,2,3,4	2									2
	スポーツと現代社会	1,2,3,4	2									1
	生活と企業	1,2,3,4	2									2
くらしと住まい	1,2,3,4	2									1	
情報化と社会	1,2,3,4	2				1					1	
戦争と平和	1,2,3,4	2									1	
平和教育	1,2,3,4	2									1	
福祉と教育	1,2,3,4	2									1	
現代の社会福祉	1,2,3,4	2									1	
人権問題を学ぶ	1,2,3,4	2									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	データサイエンス入門	1前	2			1						
人文科学分野	哲学からの問い(未開講)	1,2,3,4	2									2
	歴史からの問い(未開講)	1,2,3,4	2									2
	文学からの問い(未開講)	1,2,3,4	2									3
	論理の世界	1,2,3,4	2			1						4
	自然言語の世界	1,2,3,4	2									3
	人間と存在(未開講)	1,2,3,4	2									1
	人間と倫理	1,2,3,4	2									2
	人間と経済	1,2,3,4	2									3
	人間と心理	1,2,3,4	2									3
	心理学概論	1,2,3,4	2									1
	日本の歴史	1,2,3,4	2									2
	欧米の歴史	1,2,3,4	2									1
	文化の歴史(未開講)	1,2,3,4	2									1
	欧米の文学	1,2,3,4	2									1
	美術の世界	1,2,3,4	2									3
	音楽の世界(未開講)	1,2,3,4	2									3
	文化への問い	1,2,3,4	2									2
	芸術と文化(未開講)	1,2,3,4	2									3
	言語と文化	1,2,3,4	2									7
	教育と文化	1,2,3,4	2									3
欧米と文化	1,2,3,4	2									1	
東アジアの多様性の理解	1,2,3,4	2									2	
社会科学分野	経済学からの問い	1,2,3,4	2									7
	経営学からの問い(未開講)	1,2,3,4	2									3
	法学からの問い(未開講)	1,2,3,4	2									1
	政治学からの問い(未開講)	1,2,3,4	2									1
	人間と社会(未開講)	1,2,3,4	2									3
	社会の比較	1,2,3,4	2									2
	教育と社会	1,2,3,4	2									2
	現代社会をみる目	1,2,3,4	2									2
	日本国憲法	1,2,3,4	2									3
	現代社会と政治	1,2,3,4	2									2
	現代社会と法(未開講)	1,2,3,4	2									2
	私法の世界(未開講)	1,2,3,4	2									2
	日本社会の法と政治(未開講)	1,2,3,4	2									1
	経済学と現代	1,2,3,4	2									2
	現代の企業と経営(未開講)	1,2,3,4	2									3
	社会と会計(未開講)	1,2,3,4	2									6
	組織と会計(未開講)	1,2,3,4	2									1
	現代の諸問題	1,2,3,4	2									2
	スポーツと現代社会(未開講)	1,2,3,4	2									1
	生活と企業(未開講)	1,2,3,4	2									1
消費と社会	1,2,3,4	2									1	
くらしと住まい(未開講)	1,2,3,4	2									1	
衣と暮らし(未開講)	1,2,3,4	2									1	
情報化と社会	1,2,3,4	2				1					2	
戦争と平和(未開講)	1,2,3,4	2									1	
平和教育	1,2,3,4	2									1	
福祉と教育	1,2,3,4	2									2	
現代の社会福祉(未開講)	1,2,3,4	2									1	
人権問題を学ぶ(未開講)	1,2,3,4	2									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
												修	択
自然科学分野	男女の共生	12.3.4期後	2									1	
	世界経済と東アジア	12.3.4期後	2									1	
	日本と東アジア	12.3.4期後	2									1	
	線形代数への招待	1前	2			5	4						
	解析学への招待	1前	2			5	4						
	確率への招待	1前	2			5	4						
	データサイエンスへの招待	12.3.4期後	2			6	7	2					
	数学への招待	12.3.4期後	2			1	1					5	
	自然科学への招待	12.3.4期後	2									1	
	エンジニアリングへの招待	12.3.4期後	2									3	
	情報学への招待	12.3.4期後	2				1					2	
	宇宙と地球	12.3.4期後	2									1	
	自然と人間	12.3.4期後	2									1	
	生命と物質	12.3.4期後	2									1	
	物質とエネルギー	12.3.4期後	2									1	
	数学的思考	12.3.4期後	2									6	
	問題解決の手法	12.3.4期後	2									2	
	情報リテラシー	12.3.4期後	2									3	
	情報通信の仕組み	12.3.4期後	2									1	
	メディアと情報	12.3.4期後	2									1	
特定主題分野	健康の科学	12.3.4期後	2									3	
	身体運動の科学	12.3.4期後	2									4	
	近江とびわ湖 I	12.3.4期後	2									1	
	近江とびわ湖 II	12.3.4期後	2									1	
	近江の歴史	12.3.4期後	2									1	
	彦根・湖東学	12.3.4期後	2									1	
	地域からの視点	12.3.4期後	2									1	
	滋賀大学で環境を学ぶ	12.3.4期後	2									1	
	環境問題を学ぶ	12.3.4期後	2									4	
	環境教育概論	12.3.4期後	2									1	
外国語科目	英会話基礎	1前	1									2	
	大学英語入門	1前	1									5	
	英語 I a	1後	1									5	
	英語 I b	1後	1									2	
	Data Science English	2前	1					1					
	英語 II	2前	1									7	
	体育科目	スポーツ科学 I	1前	1									2
		スポーツ科学 II	1後	1									2
	データサイエンス基礎科目	計算機利用基礎	1前	2					1				
		情報科学概論	1前	2				1					
データ構造とアルゴリズム		1後	2			1							
プログラミング I		1後	2				1						
プログラミング I 演習		1後	1				1	1					
データベース		2後	2									1	
基礎データ分析		1前	2			1							
解析学		1後	2			1							
解析学演習		1後	1				2						
線形代数		1後	2				2						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
												修	択
自然科学分野	男女の共生 (未開講)	12.3.4期後	2									1	
	世界経済と東アジア (未開講)	12.3.4期後	2									1	
	日本と東アジア (未開講)	12.3.4期後	2									1	
	線形代数への招待	1前	2					7	3				
	解析学への招待	1前	2					7	3				
	確率への招待	1前	2					7	3				
	データサイエンスへの招待	12.3.4期後	2					10	6	2			
	数学への招待	12.3.4期後	2					1	1			5	
	自然科学への招待 (未開講)	12.3.4期後	2									1	
	エンジニアリングへの招待	12.3.4期後	2									3	
	情報学への招待	12.3.4期後	2						1			3	
	宇宙と地球 (未開講)	12.3.4期後	2									1	
	自然と人間 (未開講)	12.3.4期後	2									1	
	生命と物質	12.3.4期後	2									2	
	物質とエネルギー (未開講)	12.3.4期後	2									1	
	数学的思考	12.3.4期後	2									7	
	問題解決の手法	12.3.4期後	2									2	
	情報リテラシー	12.3.4期後	2									3	
	情報通信の仕組み (未開講)	12.3.4期後	2									1	
	メディアと情報	12.3.4期後	2									2	
メディアツール活用法	12.3.4期後	2									3		
情報教育概論	12.3.4期後	2									1		
健康の科学	12.3.4期後	2									3		
身体運動の科学	12.3.4期後	2									7		
特定主題分野	近江とびわ湖 I (未開講)	12.3.4期後	2									2	
	近江とびわ湖 II	12.3.4期後	2									1	
	近江の歴史	12.3.4期後	2									1	
	近江のくらしと文化	12.3.4期後	2									1	
	彦根・湖東学	12.3.4期後	2									1	
	地域からの視点 (未開講)	12.3.4期後	2									1	
	地域共生論	12.3.4期後	2									2	
	滋賀大学で環境を学ぶ (未開講)	12.3.4期後	2									1	
	環境問題を学ぶ	12.3.4期後	2									4	
	まちとし住まい	12.3.4期後	2									1	
外国語科目	英会話基礎	1前	1									4	
	大学英語入門	1前	1									6	
	英語 I a	1後	1									6	
	英語 I b	1後	1									4	
	Data Science English	2前	1						1				
	英語 II	2前	1									15	
	体育科目	スポーツ科学 I	1前	1									5
		スポーツ科学 II	1後	1									5
	データサイエンス基礎科目	計算機利用基礎	1前	2							1		
		情報科学概論	1前	2					1	1			
データ構造とアルゴリズム		1後	2					3					
プログラミング I		1後	2					1	1				
プログラミング I 演習		1後	1					1	1	1		2	
データベース		2後	2									1	
基礎データ分析		1前	2					1					
解析学		1後	2					1	1				
解析学演習		1後	1						2			2	
線形代数		1後	2					1	1				



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
データサイエンス専門科目	線形代数演習	1後	1			1	1					
	統計学要論	1後	2			1						
	統計数学	2前	2				1					
	回帰分析	2前	2			1						
	多変量解析入門	2前	2				1					
	基礎情報活用演習A	1後	2			1	1					
	基礎情報活用演習B	2前	2			1	1					
	プログラミングⅡ	2前	2				1					
	プログラミングⅡ演習	2前	1			1	1					
	プログラミングⅢ	2後	2			1						
	プログラミングⅢ演習	2後	1				1					
	ビジュアルプログラミング	3前	2				1					
	ビジュアルプログラミング演習	3前	1					1				
	応用数学	2後	2								1	
	プログラミング設計	2後	2						1			
	情報理論	3前	2								1	
	情報セキュリティ	3前	2				1					
	情報ネットワーク	3前	2				1					
	データマイニング総論	4後	2			1						
パターン認識総論	4前	2								1		
情報学特論(人工知能)	4後	2				1						
情報学特論(モバイルコンピューティング)	4後	2				1						
社会調査法Ⅰ	2前	2					1					
社会調査法Ⅱ	2後	2					1					
標本調査法	2前	2			1							
実験計画法	2後	2								1		
テキストマイニング	2後	2			1							
多変量解析	2後	2			1							
質的データ解析入門	2後	2			1							
質的データ解析	3前	2				1						
機械学習入門	3前	2			1							
機械学習	3後	2				1						
時系列解析入門	2後	2			1							
時系列解析	3前	2			1							
ノンパラメトリック解析入門	3前	2			1							
ノンパラメトリック解析	3後	2			1							
確率論	3後	2				1						
生存時間解析	3前	2			1					1		
ベイズ理論	3前	2				1						
最適化理論	3前	2				1						
品質管理	3前	2								1		
空間統計	4前	2			1							
統計学特論A	4前	2								1		
統計学特論B	4前	2				1						
統計学特論C	4後	2			1							
統計学特論D	4後	2			1							
情報活用演習A	2後	2				1						
情報活用演習B	2後	2				1						
シミュレーション技法	3後	2			1							
社会調査実践演習Ⅰ	3前	2					1					
社会調査実践演習Ⅱ	3後	2					1					
プレゼンテーション論	1前	2			6	7	2					
情報倫理	2前	2			1					2		
データサイエンス実践論A	1前	2			1							
データサイエンス実践論B	1後	2			1							
実践データ概論A	2前	2			1					4		
実践データ概論B	2後	2					1			4		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
データサイエンス専門科目	線形代数演習	1後	1			1	1					2
	統計学要論	1後	2				1					
	統計数学	2前	2					1				
	回帰分析	2前	2					1				
	多変量解析入門	2前	2					1				
	基礎情報活用演習A	1後	2				2	1				
	基礎情報活用演習B	2前	2				2	1				
	プログラミングⅡ	2前	2				1	1				
	プログラミングⅡ演習	2前	1				2	1				
	プログラミングⅢ	2後	2				1					
	プログラミングⅢ演習	2後	1				1	1				
	ビジュアルプログラミング	3前	2					1				
	ビジュアルプログラミング演習	3前	1						1			
	応用数学	2後	2									1
	プログラミング設計	2後	2					1		1		
	情報理論	3前	2									1
	情報セキュリティ	3前	2						1			
	情報ネットワーク	3前	2						2			
	データマイニング総論	4後	2			1						
パターン認識総論	4前	2						2			1	
情報学特論(人工知能)	4後	2				1		1				
情報学特論(モバイルコンピューティング)	4後	2				1		1				
社会調査法Ⅰ	2前	2							1			
社会調査法Ⅱ	2後	2							1			
標本調査法	2前	2			1							
実験計画法	2後	2									1	
テキストマイニング	2後	2			1							
多変量解析	2後	2			1							
質的データ解析入門	3前	2			1							
質的データ解析	3後	2						1				
機械学習入門	3前	2			1							
機械学習	3後	2				1						
時系列解析入門	2後	2			1							
時系列解析	3前	2			1							
ノンパラメトリック解析入門	3前	2			1							
ノンパラメトリック解析	3後	2			1							
確率論	3後	2				1						
生存時間解析	3前	2			1						1	
ベイズ理論	3前	2				1						
最適化理論	3前	2				1						
品質管理	3前	2									1	
空間統計	4前	2			1							
統計学特論A	4前	2									1	
統計学特論B	4前	2				1						
統計学特論C	4後	2			1							
統計学特論D	4後	2			1							
情報活用演習A	2後	2				1						
情報活用演習B	2後	2					1					
シミュレーション技法	3後	2			1							
社会調査実践演習Ⅰ	3前	2							1			
社会調査実践演習Ⅱ	3後	2							1			
プレゼンテーション論	1前	2					10	6	2		2	
情報倫理	2前	2					1				2	
データサイエンス実践論A	1前	2					2					
データサイエンス実践論B	1後	2					1					
実践データ概論A	2前	2			1						4	
実践データ概論B	2後	2							1		4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
価値創造基礎科目	価値創造方法論	3前	2			3					5
	価値創造実践論	3前	2			1					
	ミクロ経済学A	1後		2							8
	ミクロ経済学B	2前		2							8
	マクロ経済学A	1後		2							4
	マクロ経済学B	2前		2							4
	簿記会計A	1前		2							6
	簿記会計B	1後		2							6
	経営学	1後		2							11
	財務会計総論Ⅰ	2前		2							4
	財務会計総論Ⅱ	2後		2							4
	管理会計総論Ⅰ	2前		2							2
	管理会計総論Ⅱ	2後		2							2
	証券分析とポートフォリオ・マネジメントⅠ	1後		2							1
証券分析とポートフォリオ・マネジメントⅡ	2前		2							1	
計量経済学	2後		2							1	
専門教育科目	マーケティング論	3前		2							1
	マーケティング演習	3前		1							1
	ファイナンス論	3後		2							3
	ファイナンス演習	3後		1							3
	財務諸表分析論	3前		2							3
	財務諸表分析演習	3前		1							3
	生命科学方法論	3後		2							2
	生命科学演習	3後		1							2
	ビジネスエコノミクス論	3後		2		1					3
	ビジネスエコノミクス演習	3後		1		1					3
	環境政策論	3後		2							2
	環境政策演習	3後		1							2
	教育社会論	3前		2				1			
	教育社会演習	3前		1				1			
保険戦略論	3後		2							1	
保険戦略演習	3後		1							1	
公的統計	3後		2		1					1	
公的統計演習	3後		1		1					1	
心理分析論	3前		2							1	
心理分析演習	3前		1							1	
地域文化情報論	3後		2							3	
地域文化情報演習	3後		1							3	
データ駆動型PBL演習科目	データサイエンス入門演習	1後	2			6	7	2			
	データサイエンスフィールドワーク演習	2後	2			6	7	2			
	データサイエンス実践価値創造演習Ⅰ	3前	2			8	7	2			6
	データサイエンス実践価値創造演習Ⅱ	3後	2			8	7	2			6
	データサイエンス上級実践価値創造卒業演習Ⅰ	4前	2			8	7	2			6
	データサイエンス上級実践価値創造卒業演習Ⅱ	4後	2			8	7	2			6

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
価値創造基礎科目	価値創造方法論	3前	2			3					5
	価値創造実践論	3前	2			1					
	ミクロ経済学A	1後		2							8
	ミクロ経済学B	2前		2							8
	マクロ経済学A	1後		2							5
	マクロ経済学B	2前		2							4
	簿記会計A	1前		2							6
	簿記会計B	1後		2							7
	経営学	1後		2							11
	財務会計総論Ⅰ	2前		2							4
	財務会計総論Ⅱ	2後		2							4
	管理会計総論Ⅰ	2前		2							3
	管理会計総論Ⅱ	2後		2							3
	証券分析とポートフォリオ・マネジメントⅠ	1後		2							1
証券分析とポートフォリオ・マネジメントⅡ	2前		2							1	
計量経済学	2後		2							1	
専門教育科目	マーケティング論	3前後		2							1
	マーケティング演習	3前後		1							1
	ファイナンス論	3前後		2							3
	ファイナンス演習	3前後		1							3
	財務諸表分析論	3前後		2							3
	財務諸表分析演習	3前後		1							3
	生命科学方法論	3前後		2							2
	生命科学演習	3前後		1							2
	ビジネスエコノミクス論	3前後		2			1				3
	ビジネスエコノミクス演習	3前後		1			1				3
	環境政策論	3前後		2							2
	環境政策演習	3前後		1							2
	教育社会論	3前後		2					1		
	教育社会演習	3前後		1					1		
保険戦略論	3前後		2							1	
保険戦略演習	3前後		1							1	
公的統計	3前後		2					1		1	
公的統計演習	3前後		1					1		1	
心理分析論	3前後		2							1	
心理分析演習	3前後		1							1	
地域文化情報論	3前後		2							3	
地域文化情報演習	3前後		1							3	
データ駆動型PBL演習科目	データサイエンス入門演習	1後	2					10	6	2	
	データサイエンスフィールドワーク演習	2後	2					10	6	2	
	データサイエンス実践価値創造演習Ⅰ	3前	2					11	6	2	6
	データサイエンス実践価値創造演習Ⅱ	3後	2					11	6	2	6
	データサイエンス上級実践価値創造卒業演習Ⅰ	4前	2					11	6	2	6
	データサイエンス上級実践価値創造卒業演習Ⅱ	4後	2					11	6	2	6

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文科学分野	データサイエンス入門	1前	2			1						
	哲学からの問い	1.2.3.4前	2								2	
	歴史からの問い	1.2.3.4前	2								2	
	文学からの問い	1.2.3.4前	2								3	
	論理の世界	1.2.3.4前	2			1					3	
	自然言語の世界	1.2.3.4前	2								3	
	<b>人間と存在</b>	1.2.3.4前	2								1	
	人間と倫理(未開講)	1.2.3.4前	2								2	
	人間と経済(未開講)	1.2.3.4前	2								3	
	人間と心理	1.2.3.4前	2								3	
	日本の歴史(未開講)	1.2.3.4前	2								1	
	欧米の歴史(未開講)	1.2.3.4前	2								1	
	<b>文化の歴史</b>	1.2.3.4前	2								1	
	欧米の文学(未開講)	1.2.3.4前	2								1	
	美術の世界	1.2.3.4前	2								3	
	音楽の世界	1.2.3.4前	2								3	
	文化への問い	1.2.3.4前	2								2	
	芸術と文化	1.2.3.4前	2								3	
	言語と文化	1.2.3.4前	2								6	
	教育と文化	1.2.3.4前	2								3	
	<b>欧米と文化</b>	1.2.3.4前	2								1	
	東アジアの多様性の理解	1.2.3.4前	2								1	
	社会科学分野	経済学からの問い	1.2.3.4前	2								6
		経営学からの問い	1.2.3.4前	2								3
		法学からの問い	1.2.3.4前	2								1
		政治学からの問い	1.2.3.4前	2								1
		人間と社会	1.2.3.4前	2								3
		社会の比較(未開講)	1.2.3.4前	2								2
		教育と社会(未開講)	1.2.3.4前	2								2
		現代社会をみる目(未開講)	1.2.3.4前	2								2
		日本国憲法	1.2.3.4前	2								3
		現代社会と政治(未開講)	1.2.3.4前	2								2
		現代社会と法(未開講)	1.2.3.4前	2								2
		私法の世界	1.2.3.4前	2								2
		日本社会の法と政治(未開講)	1.2.3.4前	2								1
		経済学と現代(未開講)	1.2.3.4前	2								2
		現代の企業と経営	1.2.3.4前	2								3
		社会と会計	1.2.3.4前	2								6
		組織と会計(未開講)	1.2.3.4前	2								1
		現代の諸問題(未開講)	1.2.3.4前	2								2
		スポーツと現代社会(未開講)	1.2.3.4前	2								1
生活と企業(未開講)		1.2.3.4前	2								2	
くらしと住まい		1.2.3.4前	2								1	
<b>衣と暮らし</b>		1.2.3.4前	2								1	
情報化と社会		1.2.3.4前	2				1				2	
戦争と平和(未開講)		1.2.3.4前	2								1	
平和教育		1.2.3.4前	2								1	
福祉と教育		1.2.3.4前	2								1	
現代の社会福祉	1.2.3.4前	2								1		
人権問題を学ぶ(未開講)	1.2.3.4前	2								1		
男女の共生(未開講)	1.2.3.4前	2								1		
世界経済と東アジア(未開講)	1.2.3.4前	2								1		
日本と東アジア(未開講)	1.2.3.4前	2								1		
自然科学分野	線形代数への招待	1前	2			5	4					
	解析学への招待	1前	2			5	4					
	確率への招待	1前	2			5	4					
	データサイエンスへの招待	1.2.3.4前	2			6	7	2				
	数学への招待	1.2.3.4前	2			1	1				5	
自然科学への招待	1.2.3.4前	2								1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
自然科学分野	エンジニアリングへの招待	12.3.4前		2								3	
	情報学への招待	12.3.4前		2			1					3	
	宇宙と地球	12.3.4前		2								1	
	自然と人間(未開講)	12.3.4前		2								1	
	生命と物質	12.3.4前		2								2	
	物質とエネルギー(未開講)	12.3.4前		2								1	
	数学的思考	12.3.4前		2								7	
	問題解決の手法(未開講)	12.3.4前		2								2	
	情報リテラシー	12.3.4前		2								3	
	情報通信の仕組み	12.3.4前		2								1	
	メディアと情報	12.3.4前		2								2	
	メディアツール活用法	12.3.4前		2								1	
	情報教育概論	12.3.4前		2								1	
	健康の科学(未開講)	12.3.4前		2								3	
	身体運動の科学	2.3.4前		2								4	
	特定主題分野	近江とびわ湖 I	12.3.4前		2								2
		近江とびわ湖 II(未開講)	12.3.4前		2								1
		近江の歴史(未開講)	12.3.4前		2								1
		近江のくらしと文化	12.3.4前		2								1
		彦根・湖東学	12.3.4前		2								1
地域からの視点		12.3.4前		2								1	
地域共生論		12.3.4前		2								1	
滋賀大学で環境を学ぶ(未開講)		12.3.4前		2								1	
環境問題を学ぶ		12.3.4前		2								4	
環境教育概論		12.3.4前		2								1	
キャリアデザイン論		12.3.4前		2								2	
働くことの意味		12.3.4前		2								2	
自己理解		12.3.4前		2								2	
こころと身体の科学		12.3.4前		2								2	
外国語科目	英会話基礎	1前	1									3	
	大学英語入門	1前	1									6	
	英語 I a	1後	1									6	
	英語 I b	1後	1									3	
	Data Science English	2前		1				1					
	英語 II	2前		1								7	
体育科目	スポーツ科学 I	1前	1									4	
	スポーツ科学 II	1後	1									4	
データサイエンス基礎科目	計算機利用基礎	1前	2					1					
	情報科学概論	1前	2				1						
	データ構造とアルゴリズム	1後	2			1							
	プログラミング I	1後	2				1						
	プログラミング I 演習	1後	1				1	1					
	データベース	2後	2									1	
	データサイエンス基礎科目	基礎データ分析	1前	2			1						
		解析学	1後	2			1						
		解析学演習	1後	1				2					
		線形代数	1後	2				2					
		線形代数演習	1後	1			1	1					
		統計学要論	1後	2			1						
		統計数学	2前	2				1					
回帰分析		2前	2			1							
多変量解析入門		2前	2				1						
基礎情報活用演習		基礎情報活用演習A	1後	2			1	1					
	基礎情報活用演習B	2前	2			1	1						
データサイエンス専門科目	プログラミング II	2前		2			1						
	プログラミング II 演習	2前		1		1	1						
	プログラミング III	2後		2		1							
	プログラミング III 演習	2後		1			1						
	ビジュアルプログラミング	3前		2			1						
	ビジュアルプログラミング演習	3前		1				1					
	応用数学	2後		2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
データサイエンス専門科目	プログラミング設計	2後	2					1				
	情報理論	3前	2									1
	情報セキュリティ	3前	2				1					
	情報ネットワーク	3前	2				1					
	データマイニング総論	4後	2			1						
	パターン認識総論	4前	2									1
	情報学特論(人工知能)	4後	2					1				
	情報学特論(モバイルコンピューティング)	4後	2					1				
	社会調査法Ⅰ	2前	2						1			
	社会調査法Ⅱ	2後	2						1			
	標本調査法	2前	2			1						
	実験計画法	2後	2									1
	テキストマイニング	2後	2			1						
	多変量解析	2後	2			1						
	質的データ解析入門	3前	2			1						
	質的データ解析	3後	2				1					
	機械学習入門	3前	2			1						
	機械学習	3後	2				1					
	時系列解析入門	2後	2			1						
	時系列解析	3前	2			1						
	ノンパラメトリック解析入門	3前	2			1						
	ノンパラメトリック解析	3後	2			1						
	確率論	3後	2				1					
	生存時間解析	3前	2			1						1
	ベイズ理論	3前	2				1					
	最適化理論	3前	2				1					
	品質管理	3前	2									1
	空間統計	4前	2			1						
	統計学特論A	4前	2									1
	統計学特論B	4前	2					1				
	統計学特論C	4後	2			1						
	統計学特論D	4後	2			1						
情報活用演習A	2後	2					1					
情報活用演習B	2後	2					1					
シミュレーション技法	3後	2			1							
社会調査実践演習Ⅰ	3前	2						1				
社会調査実践演習Ⅱ	3後	2						1				
価値創造基礎科目	プレゼンテーション論	1前	2			6	7	2				
	情報倫理	2前	2			1						2
	データサイエンス実践論A	1前	2			1						
	データサイエンス実践論B	1後	2			1						
	実践データ概論A	2前	2			1						4
	実践データ概論B	2後	2					1				4
	価値創造方法論	3前	2			3						5
	価値創造実践論	3前	2			1						
	ミクロ経済学A	1後	2									8
	ミクロ経済学B	2前	2									8
	マクロ経済学A	1後	2									5
	マクロ経済学B	2前	2									4
	簿記会計A	1前	2									6
	簿記会計B	1後	2									6
	経営学	1後	2									11
	財務会計総論Ⅰ	2前	2									4
	財務会計総論Ⅱ	2後	2									4
	管理会計総論Ⅰ	2前	2									2
	管理会計総論Ⅱ	2後	2									2
	証券分析とポートフォリオ・マネジメントⅠ	1後	2									1
	証券分析とポートフォリオ・マネジメントⅡ	2前	2									1
	計量経済学	2後	2									1
マーケティング論	3前後	2									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専任教員科目 価値創造応用科目	マーケティング演習	3前後		1								1
	ファイナンス論	3前後		2								3
	ファイナンス演習	3前後		1								3
	財務諸表分析論	3前後		2								3
	財務諸表分析演習	3前後		1								3
	生命科学方法論	3前後		2								2
	生命科学演習	3前後		1								2
	ビジネスエコノミクス論	3前後		2		1						3
	ビジネスエコノミクス演習	3前後		1		1						3
	環境政策論	3前後		2								2
	環境政策演習	3前後		1								2
	教育社会論	3前後		2				1				
	教育社会演習	3前後		1				1				
	保険戦略論	3前後		2								1
	保険戦略演習	3前後		1								1
	公的統計	3前後		2		1						1
	公的統計演習	3前後		1		1						1
	心理分析論	3前後		2								1
	心理分析演習	3前後		1								1
	地域文化情報論	3前後		2								3
地域文化情報演習	3前後		1								3	
データ駆動型PBL演習科目	データサイエンス入門演習	1後	2			6	7	2				
	データサイエンスフィールドワーク演習	2後	2			6	7	2				
	データサイエンス実践価値創造演習Ⅰ	3前	2			8	7	2				6
	データサイエンス実践価値創造演習Ⅱ	3後	2			8	7	2				6
	データサイエンス上級実践価値創造卒業演習Ⅰ	4前	2			8	7	2				6
	データサイエンス上級実践価値創造卒業演習Ⅱ	4後	2			8	7	2				6

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

教育課程充実のため、「文学からの問い」の兼任、兼任教員を「2」から「3」に変更。  
教育課程充実のため、「論理の世界」の兼任、兼任教員を「2」から「3」に変更。  
教育課程充実のため、「自然言語の世界」の兼任、兼任教員を「1」から「3」に変更。  
教育課程充実のため、「人間と存在」を追加。  
教育課程充実のため、「人間と心理」の兼任、兼任教員を「2」から「3」に変更。  
教育課程充実のため、「文化の歴史」を追加。  
教育課程充実のため、「文化への問い」の兼任、兼任教員を「1」から「2」に変更。  
教育課程充実のため、「言語と文化」の兼任、兼任教員を「5」から「6」に変更。  
教育課程充実のため、「欧米の文化」を追加。  
教育課程充実のため、「人間と社会」の兼任、兼任教員を「2」から「3」に変更。  
教育課程充実のため、「日本国憲法」の兼任、兼任教員を「1」から「3」に変更。  
教育課程充実のため、「衣と暮らし」を追加。  
教育課程充実のため、「情報化と社会」の兼任、兼任教員を「1」から「2」に変更。  
教育課程充実のため、「情報学への招待」の兼任、兼任教員を「2」から「3」に変更。  
教育課程充実のため、「生命と物質」の兼任、兼任教員を「1」から「2」に変更。  
教育課程充実のため、「数学的思考」の兼任、兼任教員を「6」から「7」に変更。  
教育課程充実のため、「メディアと情報」の兼任、兼任教員を「1」から「2」に変更。  
教育課程充実のため、「メディアツール活用法」を追加。  
教育課程充実のため、「情報教育概論」を追加。  
教育課程充実のため、「身体運動の科学」の配当年次を「1.2.3.4前後」から「2.3.4前後」に変更。  
教育課程充実のため、「近江とびわ湖I」の兼任、兼任教員を「1」から「2」に変更。  
教育課程充実のため、「近江のくらしと文化」を追加。  
教育課程充実のため、「地域共生論」を追加。  
教育課程充実のため、「キャリアデザイン論」の兼任、兼任教員を「1」から「2」に変更。  
教育課程充実のため、「自己理解」の兼任、兼任教員を「1」から「2」に変更。  
教育課程充実のため、「英会話基礎」の兼任、兼任教員を「2」から「3」に変更。  
教育課程充実のため、「大学英語入門」の兼任、兼任教員を「5」から「6」に変更。  
教育課程充実のため、「英語I a」の兼任、兼任教員を「5」から「6」に変更。  
教育課程充実のため、「英語I b」の兼任、兼任教員を「2」から「3」に変更。  
教育課程充実のため、「スポーツ科学I」の兼任、兼任教員を「2」から「4」に変更。  
教育課程充実のため、「スポーツ科学II」の兼任、兼任教員を「2」から「4」に変更。  
教育課程充実のため、「マクロ経済学A」の兼任、兼任教員を「4」から「5」に変更。  
教育課程充実のため、「質的データ解析入門」の配当年次を「2後」から「3前」に、「質的データ解析」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。  
教育課程充実のため、「マーケティング論」及び「マーケティング演習」の配当年次を「3前」から「3前後」に変更。  
教育課程充実のため、「ファイナンス論」及び「ファイナンス演習」の配当年次を「3後」から「3前後」に変更。  
教育課程充実のため、「財務諸表分析論」及び「財務諸表分析演習」の配当年次を「3前」から「3前後」に変更。  
教育課程充実のため、「生命科学方法論」及び「生命科学演習」の配当年次を「3後」から「3前後」に変更。  
教育課程充実のため、「ビジネスエコノミクス論」及び「ビジネスエコノミクス演習」の配当年次を「3後」から「3前後」に変更。  
教育課程充実のため、「環境政策論」及び「環境政策演習」の配当年次を「3後」から「3前後」に変更。  
教育課程充実のため、「教育社会論」及び「教育社会演習」の配当年次を「3前」から「3前後」に変更。  
教育課程充実のため、「保険戦略論」及び「保険戦略演習」の配当年次を「3後」から「3前後」に変更。  
教育課程充実のため、「公的統計」及び「公的統計演習」の配当年次を「3後」から「3前後」に変更。  
教育課程充実のため、「心理分析論」及び「心理分析演習」の配当年次を「3前」から「3前後」に変更。  
教育課程充実のため、「地域文化情報論」及び「地域文化情報演習」の配当年次を「3後」から「3前後」に変更。

【平成30年度】

教育課程充実のため、「論理の世界」の兼任、兼任教員を「3」から「4」に変更。  
教育課程充実のため、「心理学概論」を追加。  
教育課程充実のため、「日本の歴史」の兼任、兼任教員を「1」から「2」に変更。  
教育課程充実のため、「言語と文化」の兼任、兼任教員を「6」から「7」に変更。  
教育課程充実のため、「東アジアの多様性の理解」の兼任、兼任教員を「1」から「2」に変更。  
教育課程充実のため、「経済学からの問い」の兼任、兼任教員を「6」から「7」に変更。  
兼任教員退職のため、「生活と企業」の兼任、兼任教員を「2」から「1」に変更。  
教育課程充実のため、「消費と社会」を追加。  
教育課程充実のため、「福祉と教育」の兼任、兼任教員を「1」から「2」に変更。  
教育課程充実のため、「メディアツール活用法」の兼任、兼任教員を「1」から「3」に変更。  
教育課程充実のため、「身体運動の科学」の兼任、兼任教員を「4」から「7」に変更。  
教育課程充実のため、「地域共生論」の兼任、兼任教員を「1」から「2」に変更。  
教育課程充実のため、「まちと住まい」を追加。  
教育課程充実のため、「環境教育概論」の兼任、兼任教員を「1」から「2」に変更。  
教育課程充実のため、「キャリアデザイン論」の兼任、兼任教員を「2」から「4」に変更。  
教育課程充実のため、「英会話基礎」の兼任、兼任教員を「3」から「4」に変更。  
教育課程充実のため、「英語I b」の兼任、兼任教員を「3」から「4」に変更。  
教育課程充実のため、「英語II」の兼任、兼任教員を「7」から「15」に変更。  
教育課程充実のため、「スポーツ科学I」の兼任、兼任教員を「4」から「5」に変更。  
教育課程充実のため、「スポーツ科学II」の兼任、兼任教員を「4」から「5」に変更。  
教育課程充実のため、「プログラミングI演習」の兼任、兼任教員を「0」から「2」に変更。  
教育課程充実のため、「解析学演習」の兼任、兼任教員を「0」から「2」に変更。  
教育課程充実のため、「線形代数演習」の兼任、兼任教員を「0」から「2」に変更。  
教育課程充実のため、「プレゼンテーション論」の兼任、兼任教員を「0」から「2」に変更。  
教育課程充実のため、「簿記会計B」の兼任、兼任教員を「6」から「7」に変更。  
教育課程充実のため、「管理会計総論I」の兼任、兼任教員を「2」から「3」に変更。  
教育課程充実のため、「管理会計総論II」の兼任、兼任教員を「2」から「3」に変更。  
教育課程充実のため  
専任教員採用、専任教員の担当科目追加及び昇任に伴う、専任教員の配置変更。  
「線形代数への招待」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授7」に、「准教授4」から「准教授3」に変更。  
「解析学への招待」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授7」に、「准教授4」から「准教授3」に変更。  
「確率への招待」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授7」に、「准教授4」から「准教授3」に変更。  
「データサイエンスへの招待」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授10」に、「准教授7」から「准教授6」に変更。  
「情報科学概論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。

「データ構造とアルゴリズム」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」に変更。  
「プログラミングI」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。  
「プログラミングI演習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。  
「解析学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。  
「線形代数」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授2」から「准教授1」に変更。  
「基礎情報活用演習A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。  
「基礎情報活用演習B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。  
「プログラミングII」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。  
「プログラミングII演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。  
「プログラミングIII演習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。  
「プログラミング設計」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。  
「情報ネットワーク」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。  
「パターン認識総論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授2」に変更。  
「情報学特論（人工知能）」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。  
「機械学習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。  
「ベイズ理論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。  
「統計学特論B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。  
「情報活用演習A」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。  
「プレゼンテーション論」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授10」に、「准教授7」から「准教授6」に変更。  
「データサイエンス実践論A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。  
「データサイエンス入門演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授10」に、「准教授7」から「准教授6」に変更。  
「データサイエンスフィールドワーク演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授10」に、「准教授7」から「准教授6」に変更。  
「データサイエンス実践価値創造演習I」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授11」に、「准教授7」から「准教授6」に変更。  
「データサイエンス実践価値創造演習II」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授11」に、「准教授7」から「准教授6」に変更。  
「データサイエンス上級実践価値創造卒業演習I」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授11」に、「准教授7」から「准教授6」に変更。  
「データサイエンス上級実践価値創造卒業演習II」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授11」に、「准教授7」から「准教授6」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
37 科目	162 科目	0 科目	199 科目	37 科目 [ 0 ]	173 科目 [ 11 ]	0 科目 [ 0 ]	210 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）



## (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	哲学からの問い	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
2	歴史からの問い	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
3	文学からの問い	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
4	人間と存在	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
5	文化の歴史	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
6	音楽の世界	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
7	芸術と文化	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
8	経営学からの問い	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
9	法学からの問い	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
10	政治学からの問い	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
11	人間と社会	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
12	現代社会と法	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
13	私法の世界	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
14	日本社会の法と政治	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
15	現代の企業と経営	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
16	社会と会計	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
17	組織と会計	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
18	世界経済と東アジア	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
19	日本と東アジア	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
20	スポーツと現代社会	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
21	生活と企業	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
22	暮らしと住まい	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
23	衣と暮らし	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
24	戦争と平和	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
25	現代の社会福祉	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
26	人権問題を学ぶ	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
27	男女の共生	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
28	自然科学への招待	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
29	宇宙と地球	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
30	自然と人間	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
31	物質とエネルギー	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
32	情報通信の仕組み	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
33	近江とびわ湖 I	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
34	地域からの視点	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無
35	滋賀大学で環境を学ぶ	2	1234前後	一般	選択	3年に1回以上本学教員が担当するため, 代替措置無

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

## (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

該当なし

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目の全学共通教養科目は、本学教員が原則として6学期(3年)に1回以上担当するものであること及び選択科目でありその他の科目で代替が可能なことから、学生の履修への影響はない。学生には、滋賀大学キャンパス教育支援システム(Web)及び時間割で周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{35}{199} = \boxed{17.58} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	162,440 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	162,440 m <sup>2</sup>			
	運動場用地	76,930 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	76,930 m <sup>2</sup>			
	小 計	239,370 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	239,370 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	109,382 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	109,382 m <sup>2</sup>			
	合 計	348,752 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	348,752 m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体		
		61,790 m <sup>2</sup> ( 61,790 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	61,790 m <sup>2</sup> ( 61,790 m <sup>2</sup> )			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設 15 室 13 室 (補助職員 2人)	語学学習施設 4 室 (補助職員 0人) (29)		
		43 室	42 室	76 室		耐震工事に伴う増 (29)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
		データサイエンス学部 データサイエンス学科		24 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	データサイエ ンス学部	648,674 [138,633]	23,678 [9,815]		12,772			
		646,108 [138,485]	23,615 [9,797]	7,631 [7,004]	12,730			
		644,731 [138,224]	23,513 [9,772]	7,604 [6,979]	12,598	59	0	
		(648,674 [138,633])	(23,678 [9,815])		(12,772)			
		(646,108 [138,485])	(23,615 [9,797])	(7,631 [7,004])	(12,730)			
計	648,674 [138,633]	23,678 [9,815]		12,772				
	646,108 [138,485]	23,615 [9,797]	7,631 [7,004]	12,730				
	644,731 [138,224]	23,513 [9,772]	7,604 [6,979]	12,598	59	0		
	(648,674 [138,633])	(23,678 [9,815])		(12,772)				
	(646,108 [138,485])	(23,615 [9,797])	(7,631 [7,004])	(12,730)				
	(644,731 [138,224])	(23,513 [9,772])	(7,604 [6,979])	(12,598)	(59)	(0)		
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		5,764 m <sup>2</sup>		510	725,000			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体	
		5,437 m <sup>2</sup>		野球場、テニスコート、プール、弓道場など				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円
	共 同 研 究 費 等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		—						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	滋賀大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学 定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
データサイエンス学部									
データサイエンス学科	4	100	-	200	学士 (データサイエンス)	1.09	平成29年度	滋賀県彦根市馬場一丁目1番1号	
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	230	-	940	学士 (教育)	1.06	平成9年度	滋賀県大津市平津二丁目5番1号	平成29年度入学生定員減 (10人)
経済学部									
経済学科					学士 (経済学)		平成29年度	滋賀県彦根市馬場一丁目1番1号	
昼間主コース	4	165	3年次 5	686		0.96			平成29年度入学生定員減 (10人)、編入学定員増 (2人)
夜間主コース	4	11	-	40		0.90			平成29年度入学生定員増 (2人)
ファイナンス学科					学士 (経済学)		平成29年度	同上	
昼間主コース	4	55	3年次 3	236		1.07			平成29年度入学生定員減 (5人)
夜間主コース	4	9	-	34		0.66			平成29年度入学生定員増 (1人)
企業経営学科					学士 (経済学)		平成29年度	同上	
昼間主コース	4	75	3年次 4	318		1.19			平成29年度入学生定員減 (5人)
夜間主コース	4	10	-	36		1.20			平成29年度入学生定員増 (2人)
会計情報学科					学士 (経済学)		平成29年度	同上	
昼間主コース	4	50	3年次 3	216		1.12			平成29年度入学生定員減 (5人)
夜間主コース	4	9	-	34		1.44			平成29年度入学生定員増 (1人)
情報管理学科					学士 (経済学)		平成29年度	同上	
昼間主コース	4	-	-	-		-			平成29年度学生募集停止
夜間主コース	4	-	-	-		-			平成29年度学生募集停止
社会システム					学士 (経済学)		平成29年度	同上	
昼間主コース	4	65	3年次 5	278		1.08			平成29年度入学生定員減 (5人)、編入学定員増 (1人)
夜間主コース	4	11	-	40		0.90			平成29年度入学生定員増 (2人)

教育学研究科 (修士課程)												
学校教育専攻	2	45	-	90	修士 (教育学)	0.91	平成3年度	滋賀県大津市平津二丁目5番1号				
障害児教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	平成3年度	同上			平成29年学生募集停止	
教科教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	平成3年度	同上			平成29年学生募集停止	
(専門職学位課程)												
高度教職実践専攻	2	20	-	40	教職修士 (専門職)	1.05	平成29年度	同上				
経済学研究科 (博士前期課程)												
経済学専攻	2	18	-	36	修士 (経済学)	0.47	昭和48年度	滋賀県彦根市馬場一丁目1番1号				
経営学専攻	2	18	-	36	修士 (経営学)	0.94	昭和48年度	同上				
グローバル・ファイナンス専攻	2	6	-	12	修士 (ファイナンス)	0.24	平成13年度	同上				
(博士後期課程)												
経済経営リスク専攻	3	6	-	18	博士 (経済学) (経営学)	0.44	平成15年度	同上				
大学の名称	〇〇短期大学										備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 員	編入 学 員	収 容 員	学位又 は称号	平均入 学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地				
	年	人	年次	人		倍			該当なし			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。







専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
					市川 治 (65) <平成30年2月>  データサイエンスへの招待 情報科学概論 データ構造とアルゴリズム プログラミングⅠ演習 基礎情報活用演習A 基礎情報活用演習B プログラミングⅡ演習 プログラミング設計 パターン認識総論 情報学特論(人工知能) プレゼンテーション論 データサイエンス実践論A データサイエンス入門演習 データサイエンス フィールドワーク演習 データサイエンス 実践価値創造演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅱ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅰ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅱ
					佐藤 智和 (41) <平成30年1月>  データサイエンスへの招待 データ構造とアルゴリズム プログラミングⅠ プログラミングⅡ プログラミングⅢ演習 パターン認識総論 プレゼンテーション論 データサイエンス入門演習 データサイエンス フィールドワーク演習 データサイエンス 実践価値創造演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅱ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅰ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅱ
		梅津 高明 (39) <平成29年4月>	梅津 高明 (39) <平成29年4月>	梅津 高明 (40) <平成29年4月>	梅津 高明 (40) <平成29年4月>
専	准教授	データサイエンスへの招待 情報学への招待 プログラミングⅠ プログラミングⅢ演習 情報セキュリティ プレゼンテーション論 データサイエンス入門演習 データサイエンス フィールドワーク演習 データサイエンス 実践価値創造演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅱ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅰ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅱ	データサイエンスへの招待 情報学への招待 プログラミングⅠ プログラミングⅢ演習 情報セキュリティ プレゼンテーション論 データサイエンス入門演習 データサイエンス フィールドワーク演習 データサイエンス 実践価値創造演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅱ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅰ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅱ	データサイエンスへの招待 情報学への招待 プログラミングⅠ プログラミングⅢ演習 情報セキュリティ 情報ネットワーク プレゼンテーション論 データサイエンス入門演習 データサイエンス フィールドワーク演習 データサイエンス 実践価値創造演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅱ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅰ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅱ	データサイエンスへの招待 情報学への招待 プログラミングⅠ プログラミングⅢ演習 情報セキュリティ 情報ネットワーク プレゼンテーション論 データサイエンス入門演習 データサイエンス フィールドワーク演習 データサイエンス 実践価値創造演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅱ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅰ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅱ
専	准教授	川井 明 (36) <平成29年4月>	川井 明 (36) <平成29年4月>	川井 明 (37) <平成29年4月>	川井 明 (37) <平成29年4月>
専	准教授	情報化と社会 データサイエンスへの招待 プログラミングⅠ演習 プログラミングⅡ 情報ネットワーク 情報学特論(モバイルコンピューティング) プレゼンテーション論 データサイエンス入門演習 データサイエンス フィールドワーク演習 データサイエンス 実践価値創造演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅱ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅰ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅱ	情報化と社会 データサイエンスへの招待 プログラミングⅠ演習 プログラミングⅡ 情報ネットワーク 情報学特論(モバイルコンピューティング) プレゼンテーション論 データサイエンス入門演習 データサイエンス フィールドワーク演習 データサイエンス 実践価値創造演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅱ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅰ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅱ	情報化と社会 データサイエンスへの招待 プログラミングⅠ演習 プログラミングⅡ 情報ネットワーク 情報学特論(モバイルコンピューティング) プレゼンテーション論 データサイエンス入門演習 データサイエンス フィールドワーク演習 データサイエンス 実践価値創造演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅱ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅰ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅱ	情報化と社会 データサイエンスへの招待 プログラミングⅠ演習 プログラミングⅡ 情報ネットワーク 情報学特論(モバイルコンピューティング) プレゼンテーション論 データサイエンス入門演習 データサイエンス フィールドワーク演習 データサイエンス 実践価値創造演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅱ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅰ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅱ



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	松井 秀俊 (35) <平成29年4月>
		線形代数への招待 解析学への招待 確率への招待 データサイエンスへの招待 線形代数演習 多変量解析入門 基礎情報活用演習A 最適化理論 プレゼンテーション論 データサイエンス入門演習 データサイエンス フィールドワーク演習 データサイエンス 実践価値創造演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅱ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅰ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅱ
専	講師	周 暁康 (33) <平成29年4月>
		データサイエンスへの招待 Data Science English 計算機利用基礎 プログラミングⅠ演習 ビジュアルプログラミング演習 プログラミング設計 プレゼンテーション論 データサイエンス入門演習 データサイエンス フィールドワーク演習 データサイエンス 実践価値創造演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅱ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅰ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅱ
専	講師	伊達 平和 (31) <平成29年4月>
		データサイエンスへの招待 社会調査法Ⅰ 社会調査法Ⅱ 社会調査実践演習Ⅰ 社会調査実践演習Ⅱ プレゼンテーション論 実践データ概論B ※ 教育社会論 教育社会演習 データサイエンス入門演習 データサイエンス フィールドワーク演習 データサイエンス 実践価値創造演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅱ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅰ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅱ
兼任	教授	青柳 周一 (46) <平成29年4月>
		日本の歴史
兼任	教授	阿部 安成 (55) <平成29年4月>
		戦争と平和 人権問題を学ぶ
兼任	教授	石井 良一 (61) <平成29年4月>
		彦根・湖東学 地域文化情報論 地域文化情報演習
兼任	教授	磯西 和夫 (59) <平成29年4月>
		エンジニアリングへの招待 ※
兼任	教授	伊藤 博之 (51) <平成29年4月>
		経営学からの問い 経営学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	松井 秀俊 (35) <平成29年4月>
		線形代数への招待 解析学への招待 確率への招待 データサイエンスへの招待 線形代数演習 多変量解析入門 基礎情報活用演習A 最適化理論 プレゼンテーション論 データサイエンス入門演習 データサイエンス フィールドワーク演習 データサイエンス 実践価値創造演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅱ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅰ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅱ
専	講師	周 暁康 (33) <平成29年4月>
		データサイエンスへの招待 Data Science English 計算機利用基礎 プログラミングⅠ演習 ビジュアルプログラミング演習 プログラミング設計 プレゼンテーション論 データサイエンス入門演習 データサイエンス フィールドワーク演習 データサイエンス 実践価値創造演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅱ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅰ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅱ
専	講師	伊達 平和 (31) <平成29年4月>
		データサイエンスへの招待 社会調査法Ⅰ 社会調査法Ⅱ 社会調査実践演習Ⅰ 社会調査実践演習Ⅱ プレゼンテーション論 実践データ概論B ※ 教育社会論 教育社会演習 データサイエンス入門演習 データサイエンス フィールドワーク演習 データサイエンス 実践価値創造演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅱ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅰ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅱ
兼任	教授	青柳 周一 (47) <平成29年4月>
		日本の歴史
兼任	教授	阿部 安成 (55) <平成29年4月>
		戦争と平和 人権問題を学ぶ
兼任	教授	石井 良一 (61) <平成29年4月>
		彦根・湖東学 地域文化情報論 地域文化情報演習
兼任	教授	磯西 和夫 (59) <平成29年4月>
		エンジニアリングへの招待 ※
兼任	教授	伊藤 博之 (51) <平成29年4月>
		経営学からの問い 経営学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	松井 秀俊 (36) <平成29年4月>
		線形代数への招待 解析学への招待 確率への招待 データサイエンスへの招待 線形代数演習 多変量解析入門 基礎情報活用演習A 最適化理論 プレゼンテーション論 データサイエンス入門演習 データサイエンス フィールドワーク演習 データサイエンス 実践価値創造演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅱ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅰ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅱ
専	講師	周 暁康 (34) <平成29年4月>
		データサイエンスへの招待 Data Science English 計算機利用基礎 プログラミングⅠ演習 ビジュアルプログラミング演習 プログラミング設計 プレゼンテーション論 データサイエンス入門演習 データサイエンス フィールドワーク演習 データサイエンス 実践価値創造演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅱ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅰ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅱ
専	講師	伊達 平和 (32) <平成29年4月>
		データサイエンスへの招待 社会調査法Ⅰ 社会調査法Ⅱ 社会調査実践演習Ⅰ 社会調査実践演習Ⅱ プレゼンテーション論 実践データ概論B ※ 教育社会論 教育社会演習 データサイエンス入門演習 データサイエンス フィールドワーク演習 データサイエンス 実践価値創造演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅱ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅰ データサイエンス 上級実践価値創造卒業演習Ⅱ
兼任	教授	青柳 周一 (48) <平成29年4月>
		日本の歴史
兼任	教授	阿部 安成 (56) <平成29年4月>
		戦争と平和 人権問題を学ぶ
兼任	教授	石井 良一 (62) <平成29年4月>
		彦根・湖東学 地域文化情報論 地域文化情報演習
兼任	教授	磯西 和夫 (60) <平成29年4月>
		エンジニアリングへの招待 ※
兼任	教授	伊藤 博之 (52) <平成29年4月>
		経営学からの問い 経営学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	系兼前 (51) <平成29年4月> 生命と物質
兼任	教授	天伏 純子 (60) <平成29年4月> 音楽の世界
兼任	教授	井上 毅 (60) <平成29年4月> 人間と心理
兼任	教授	宇佐見 隆之 (51) <平成29年4月> 歴史からの問い
兼任	教授	江原 寛昭 (59) <平成29年4月> 健康の科学
兼任	教授	太田 善之 (58) <平成29年4月> 社会と会計 簿記会計A 簿記会計B 財務会計総論Ⅰ 財務会計総論Ⅱ
兼任	教授	岡本 哲弥 (47) <平成29年4月> 問題解決の手法 経営学 マーケティング論 マーケティング演習
兼任	教授	小倉 明浩 (56) <平成29年4月> 世界経済と東アジア
兼任	教授	小田切(林) 純子 (64) <平成29年4月> 生活と企業
兼任	教授	金子 孝吉 (61) <平成29年4月> 文学からの問い
兼任	教授	神部 純一 (53) <平成29年4月> 働くことの意味
兼任	教授	楠田 浩二 (52) <平成29年4月> 数学への招待 証券分析とポートフォリオ・マネジメントⅠ 証券分析とポートフォリオ・マネジメントⅡ
兼任	教授	久保 加織 (55) <平成29年4月> 健康の科学
兼任	教授	久保 英也 (63) <平成29年4月> 経済学からの問い 保険戦略論 保険戦略演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	系兼前 (52) <平成29年4月> 生命と物質
兼任	教授	天伏 純子 (60) <平成29年4月> 音楽の世界
兼任	教授	井上 毅 (60) <平成29年4月> 人間と心理
兼任	教授	宇佐見 隆之 (51) <平成29年4月> 歴史からの問い
兼任	教授	江原 寛昭 (59) <平成29年4月> 健康の科学
兼任	教授	太田 善之 (58) <平成29年4月> 社会と会計 簿記会計A 簿記会計B 財務会計総論Ⅰ 財務会計総論Ⅱ
兼任	教授	岡本 哲弥 (47) <平成29年4月> 問題解決の手法 経営学 マーケティング論 マーケティング演習
兼任	教授	小倉 明浩 (56) <平成29年4月> 世界経済と東アジア
兼任	教授	小田切(林) 純子 (64) <平成29年4月> 生活と企業
兼任	教授	金子 孝吉 (61) <平成29年4月> 文学からの問い
兼任	教授	神部 純一 (53) <平成29年4月> 働くことの意味
兼任	教授	楠田 浩二 (53) <平成29年4月> 数学への招待 証券分析とポートフォリオ・マネジメントⅠ 証券分析とポートフォリオ・マネジメントⅡ
兼任	教授	久保 加織 (55) <平成29年4月> 健康の科学
兼任	教授	久保 英也 (63) <平成29年4月> 経済学からの問い 保険戦略論 保険戦略演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	系兼前 (53) <平成29年4月> 生命と物質
兼任	教授	天伏 純子 (61) <平成29年4月> 音楽の世界
兼任	教授	井上 毅 (61) <平成29年4月> 人間と心理
兼任	教授	宇佐見 隆之 (52) <平成29年4月> 歴史からの問い
兼任	教授	江原 寛昭 (59) <平成29年4月> 健康の科学
兼任	教授	太田 善之 (59) <平成29年4月> 社会と会計 簿記会計A 簿記会計B 財務会計総論Ⅰ 財務会計総論Ⅱ
兼任	教授	岡本 哲弥 (48) <平成29年4月> 問題解決の手法 経営学 マーケティング論 マーケティング演習
兼任	理事 副学長	小倉 明浩 (57) <平成29年4月> 世界経済と東アジア
兼任	教授	金子 孝吉 (62) <平成29年4月> 文学からの問い
兼任	教授	神部 純一 (54) <平成29年4月> 働くことの意味
兼任	教授	楠田 浩二 (54) <平成29年4月> 数学への招待 証券分析とポートフォリオ・マネジメントⅠ 証券分析とポートフォリオ・マネジメントⅡ
兼任	教授	久保 加織 (56) <平成29年4月> 健康の科学
兼任	教授	久保 英也 (64) <平成29年4月> 経済学からの問い 保険戦略論 保険戦略演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	久保田 泰孝 (49) <平成29年4月>
		こころと身体の科学※
兼任	教授	黒石 晋 (58) <平成29年4月>
		人間と社会
兼任	教授	児玉(中野) 奈々 (42) <平成29年4月>
		教育と社会
兼任	教授	澤木 聖子 (51) <平成29年4月>
		文化への問い 経営学
兼任	教授	白石 恵理子 (57) <平成29年4月>
		現代の社会福祉
兼任	教授	神 直人 (55) <平成29年4月>
		数学的思考
兼任	教授	菅 眞佐子 (60) <平成29年4月>
		教育と文化
兼任	教授	杉江 淑子 (62) <平成29年4月>
		芸術と文化
兼任	教授	鈴木 康夫 (57) <平成29年4月>
		人間と経済 自然と人間 マクロ経済学A マクロ経済学B
兼任	教授	清宮 政宏 (55) <平成29年4月>
		現代の企業と経営 経営学
兼任	教授	高澤 茂樹 (57) <平成29年4月>
		数学への招待
兼任	教授	岳野 公人 (45) <平成29年4月>
		エンジニアリングへの招待
兼任	教授	田中 英明 (52) <平成29年4月>
		経済学からの問い
兼任	教授	田中 宏子 (55) <平成29年4月>
		くらしと住まい

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	久保田 泰孝 (49) <平成29年4月>
		こころと身体の科学※
兼任	教授	黒石 晋 (58) <平成29年4月>
		人間と社会
兼任	教授	児玉(中野) 奈々 (42) <平成29年4月>
		教育と社会
兼任	教授	澤木 聖子 (51) <平成29年4月>
		文化への問い 経営学
兼任	教授	白石 恵理子 (57) <平成29年4月>
		現代の社会福祉
兼任	教授	神 直人 (55) <平成29年4月>
		数学的思考
兼任	教授	菅 眞佐子 (60) <平成29年4月>
		教育と文化
兼任	教授	杉江 淑子 (62) <平成29年4月>
		芸術と文化
兼任	教授	鈴木 康夫 (57) <平成29年4月>
		人間と経済 自然と人間 <b>近江とびわ湖 I</b> マクロ経済学A マクロ経済学B
兼任	教授	清宮 政宏 (55) <平成29年4月>
		現代の企業と経営 経営学
兼任	教授	高澤 茂樹 (57) <平成29年4月>
		数学への招待
兼任	教授	岳野 公人 (45) <平成29年4月>
		エンジニアリングへの招待
兼任	教授	田中 英明 (52) <平成29年4月>
		経済学からの問い
兼任	教授	田中 宏子 (55) <平成29年4月>
		くらしと住まい

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	久保田 泰孝 (50) <平成29年4月>
		こころと身体の科学※
兼任	教授	黒石 晋 (59) <平成29年4月>
		人間と社会
兼任	教授	児玉(中野) 奈々 (43) <平成29年4月>
		教育と社会
兼任	教授	澤木 聖子 (52) <平成29年4月>
		文化への問い 経営学
兼任	教授	白石 恵理子 (58) <平成29年4月>
		現代の社会福祉
兼任	教授	神 直人 (56) <平成29年4月>
		数学的思考
兼任	教授	菅 眞佐子 (61) <平成29年4月>
		教育と文化
兼任	教授	杉江 淑子 (63) <平成29年4月>
		芸術と文化
兼任	教授	鈴木 康夫 (58) <平成29年4月>
		人間と経済 自然と人間 <b>近江とびわ湖 I</b> マクロ経済学A マクロ経済学B
兼任	教授	清宮 政宏 (56) <平成29年4月>
		現代の企業と経営 経営学
兼任	教授	高澤 茂樹 (58) <平成29年4月>
		数学への招待
兼任	教授	岳野 公人 (46) <平成29年4月>
		エンジニアリングへの招待
兼任	教授	田中 英明 (53) <平成29年4月>
		経済学からの問い
兼任	教授	田中 宏子 (56) <平成29年4月>
		くらしと住まい

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任 教授		谷口 伸一 (63) <平成29年4月>
		情報学への招待 データベース
兼任 教授		簡井 正夫 (62) <平成29年4月>
		近江とびわ湖Ⅱ
兼任 教授		中野 桂 (53) <平成29年4月>
		環境問題を学ぶ ※ マクロ経済学A マクロ経済学B ビジネスエコノミクス論 ビジネスエコノミクス演習
兼任 教授		中村 史朗 (56) <平成29年4月>
		言語と文化
兼任 教授		永田(志田) えり子 (59) <平成29年4月>
		現代の諸問題 男女の共生
兼任 教授		鍋倉 聰 (46) <平成29年4月>
		社会の比較
兼任 教授		新聞 伸也 (57) <平成29年4月>
		美術の世界
兼任 教授		二宮 健史郎 (49) <平成29年4月>
		経済学からの問い
兼任 教授		野田 昭宏 (50) <平成29年4月>
		社会と会計 簿記会計A 簿記会計B 財務会計総論Ⅰ 財務会計総論Ⅱ 財務諸表分析論 財務諸表分析演習
兼任 教授		林(近藤) 睦 (47) <平成29年4月>
		芸術と文化
兼任 教授		原 秀六 (60) <平成29年4月>
		私法の世界
兼任 教授		平井 肇 (62) <平成29年4月>
		スポーツと現代社会
兼任 教授		弘中 史子 (49) <平成29年4月>
		生活と企業 経営学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任 教授		谷口 伸一 (64) <平成29年4月>
		情報学への招待 データベース
兼任 教授		簡井 正夫 (62) <平成29年4月>
		近江とびわ湖Ⅱ
兼任 教授		中野 桂 (53) <平成29年4月>
		環境問題を学ぶ ※ マクロ経済学A マクロ経済学B ビジネスエコノミクス論 ビジネスエコノミクス演習
兼任 教授		中村 史朗 (56) <平成29年4月>
		言語と文化
兼任 教授		永田(志田) えり子 (59) <平成29年4月>
		現代の諸問題 男女の共生
兼任 教授		鍋倉 聰 (46) <平成29年4月>
		社会の比較
兼任 教授		新聞 伸也 (57) <平成29年4月>
		美術の世界
兼任 教授		二宮 健史郎 (49) <平成29年4月>
		経済学からの問い
兼任 教授		野田 昭宏 (50) <平成29年4月>
		社会と会計 簿記会計A 簿記会計B 財務会計総論Ⅰ 財務会計総論Ⅱ 財務諸表分析論 財務諸表分析演習
兼任 教授		林(近藤) 睦 (47) <平成29年4月>
		芸術と文化
兼任 教授		原 秀六 (60) <平成29年4月>
		私法の世界
兼任 教授		平井 肇 (62) <平成29年4月>
		スポーツと現代社会
兼任 教授		弘中 史子 (50) <平成29年4月>
		生活と企業 経営学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任 教授		谷口 伸一 (65) <平成29年4月>
		情報学への招待 データベース
兼任 教授		簡井 正夫 (63) <平成29年4月>
		近江とびわ湖Ⅱ
兼任 教授		中野 桂 (54) <平成29年4月>
		環境問題を学ぶ ※ マクロ経済学A マクロ経済学B ビジネスエコノミクス論 ビジネスエコノミクス演習
兼任 教授		中村 史朗 (57) <平成29年4月>
		言語と文化
兼任 教授		永田(志田) えり子 (60) <平成29年4月>
		現代の諸問題 男女の共生
兼任 教授		鍋倉 聰 (47) <平成29年4月>
		社会の比較
兼任 教授		新聞 伸也 (58) <平成29年4月>
		美術の世界
兼任 教授		二宮 健史郎 (50) <平成29年4月>
		経済学からの問い
兼任 教授		野田 昭宏 (51) <平成29年4月>
		社会と会計 簿記会計A 簿記会計B 財務会計総論Ⅰ 財務会計総論Ⅱ 財務諸表分析論 財務諸表分析演習
兼任 教授		林(近藤) 睦 (48) <平成29年4月>
		芸術と文化
兼任 教授		原 秀六 (61) <平成29年4月>
		私法の世界
兼任 教授		平井 肇 (63) <平成29年4月>
		スポーツと現代社会
兼任 教授		弘中 史子 (51) <平成29年4月>
		生活と企業 経営学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	福浦 厚子 (53) <平成29年4月> 東アジアの多様性の理解
兼任	教授	松田 隆典 (59) <平成29年4月> 地域からの視点
兼任	教授	真鍋 晶子 (56) <平成29年4月> 大学英語入門 英語Ⅰa 英語Ⅱ 言語と文化
兼任	教授	御崎 加代子 (54) <平成29年4月> 人間と経済
兼任	教授	道上 静香 (44) <平成29年4月> 身体運動の科学 スポーツ科学Ⅰ スポーツ科学Ⅱ
兼任	教授	三輪 貴美枝 (50) <平成29年4月> 教育と文化
兼任	教授	宗野 隆俊 (47) <平成29年4月> 日本社会の法と政治
兼任	教授	森 宏一郎 (45) <平成29年4月> キャリアデザイン論
兼任	教授	山田 和代 (48) <平成29年4月> 働くことの意味
兼任	教授	山本 祐二 (53) <平成29年4月> こころと身体の科学 ※
兼任	教授	與倉 弘子 (58) <平成29年4月> エンジニアリングへの招待 ※
兼任	教授	横山 幸司 (46) <平成29年4月> 現代社会と政治
兼任	教授	吉田 裕司 (48) <平成29年4月> 経済学と現代 ファイナンス論 ファイナンス演習
兼任	教授	世ノ一 善生 (51) <平成29年4月> 美術の世界

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	福浦 厚子 (53) <平成29年4月> 東アジアの多様性の理解
兼任	教授	松田 隆典 (59) <平成29年4月> 地域からの視点
兼任	教授	真鍋 晶子 (56) <平成29年4月> 大学英語入門 英語Ⅰa 英語Ⅱ 言語と文化
兼任	教授	御崎 加代子 (54) <平成29年4月> 人間と経済
兼任	教授	道上 静香 (44) <平成29年4月> 身体運動の科学 スポーツ科学Ⅰ スポーツ科学Ⅱ
兼任	教授	三輪 貴美枝 (50) <平成29年4月> 教育と文化
兼任	教授	宗野 隆俊 (47) <平成29年4月> 日本社会の法と政治
兼任	教授	森 宏一郎 (45) <平成29年4月> キャリアデザイン論
兼任	教授	山田 和代 (48) <平成29年4月> 働くことの意味
兼任	教授	山本 祐二 (53) <平成29年4月> こころと身体の科学 ※
兼任	教授	與倉 弘子 (58) <平成29年4月> エンジニアリングへの招待 ※
兼任	教授	横山 幸司 (46) <平成29年4月> 現代社会と政治
兼任	教授	吉田 裕司 (48) <平成29年4月> 経済学と現代 ファイナンス論 ファイナンス演習
兼任	教授	世ノ一 善生 (51) <平成29年4月> 美術の世界

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	福浦 厚子 (54) <平成29年4月> 東アジアの多様性の理解
兼任	教授	松田 隆典 (60) <平成29年4月> 地域からの視点
兼任	教授	真鍋 晶子 (57) <平成29年4月> 大学英語入門 英語Ⅰa 英語Ⅱ 言語と文化
兼任	教授	御崎 加代子 (55) <平成29年4月> 人間と経済
兼任	教授	道上 静香 (45) <平成29年4月> 身体運動の科学 スポーツ科学Ⅰ スポーツ科学Ⅱ
兼任	教授	三輪 貴美枝 (51) <平成29年4月> 教育と文化
兼任	教授	宗野 隆俊 (48) <平成29年4月> 日本社会の法と政治
兼任	教授	森 宏一郎 (46) <平成29年4月> キャリアデザイン論
兼任	教授	山田 和代 (49) <平成29年4月> 働くことの意味
兼任	教授	山本 祐二 (54) <平成29年4月> こころと身体の科学 ※
兼任	教授	與倉 弘子 (59) <平成29年4月> エンジニアリングへの招待 ※
兼任	教授	横山 幸司 (47) <平成29年4月> 現代社会と政治
兼任	教授	吉田 裕司 (49) <平成29年4月> 経済学と現代 ファイナンス論 ファイナンス演習
兼任	教授	世ノ一 善生 (52) <平成29年4月> 美術の世界

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	若林 千春 (56) <平成29年4月> 芸術と文化
兼任	教授	渡邊 凡夫 (53) <平成29年4月> 論理の世界 メディアと情報 パターン認識総論
兼任	准教授	赤塚 尚之 (38) <平成29年4月> 社会と会計 簿記会計A 簿記会計B 財務会計総論Ⅰ 財務会計総論Ⅱ
兼任	准教授	石井(石橋)利江子 (39) <平成29年4月> 数学的思考 ミクロ経済学A ミクロ経済学B ビジネスエコノミクス論 ビジネスエコノミクス演習
兼任	准教授	石川 俊之 (43) <平成29年4月> 近江とびわ湖Ⅰ 環境教育概論
兼任	准教授	井手 一郎 (58) <平成29年4月> 経済学からの問い ミクロ経済学A ミクロ経済学B
兼任	准教授	出原 健一 (47) <平成29年4月> 大学英語入門 英語Ⅰa 英語Ⅱ 論理の世界 自然言語の世界

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	若林 千春 (56) <平成29年4月> 芸術と文化
兼任	教授	渡邊 凡夫 (53) <平成29年4月> 論理の世界 メディアと情報 パターン認識総論
兼任	教授	神山 保 (62) <平成29年4月> メディアツール活用 法
兼任	准教授	赤塚 尚之 (38) <平成29年4月> 社会と会計 簿記会計A 簿記会計B 財務会計総論Ⅰ 財務会計総論Ⅱ
兼任	准教授	石井(石橋)利江子 (39) <平成29年4月> 数学的思考 ミクロ経済学A ミクロ経済学B ビジネスエコノミクス論 ビジネスエコノミクス演習
兼任	准教授	石川 俊之 (43) <平成29年4月> 近江とびわ湖Ⅰ 環境教育概論
兼任	准教授	井手 一郎 (58) <平成29年4月> 経済学からの問い ミクロ経済学A ミクロ経済学B
兼任	准教授	出原 健一 (47) <平成29年4月> 大学英語入門 英語Ⅰa 英語Ⅱ 論理の世界 自然言語の世界

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	若林 千春 (57) <平成29年4月> 芸術と文化
兼任	教授	渡邊 凡夫 (54) <平成29年4月> 論理の世界 メディアと情報 パターン認識総論
兼任	教授	神山 保 (63) <平成29年4月> メディアツール活用 法
兼任	教授	市川 智史 (57) <平成30年4月> 環境教育概論
兼任	教授	齋藤 浩文 (54) <平成30年4月> 論理の世界
兼任	教授	鈴木 宏昌 (51) <平成30年4月> メディアツール活用 法
兼任	教授	水上 善博 (56) <平成30年4月> メディアツール活用 法
兼任	教授	若松 養亮 (55) <平成30年4月> キャリアデザイン論
兼任	特任教授	北村 裕明 (65) <平成30年4月> まちと住まい
兼任	准教授	赤塚 尚之 (39) <平成29年4月> 社会と会計 簿記会計A 簿記会計B 財務会計総論Ⅰ 財務会計総論Ⅱ
兼任	准教授	石井(石橋)利江子 (40) <平成29年4月> 数学的思考 ミクロ経済学A ミクロ経済学B ビジネスエコノミクス論 ビジネスエコノミクス演習
兼任	准教授	石川 俊之 (44) <平成29年4月> 近江とびわ湖Ⅰ 環境教育概論
兼任	准教授	井手 一郎 (59) <平成29年4月> 経済学からの問い ミクロ経済学A ミクロ経済学B
兼任	教授	出原 健一 (48) <平成29年4月> 大学英語入門 英語Ⅰa 英語Ⅱ 論理の世界 自然言語の世界



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	岩井 憲一 (50) <平成29年4月> 情報学への招待
兼任	准教授	榎本 雅之 (35) <平成29年4月> 身体運動の科学 スポーツ科学Ⅰ スポーツ科学Ⅱ
兼任	准教授	大清水 裕 (38) <平成29年4月> 欧米の歴史
兼任	准教授	大瀧 巖 (45) <平成29年4月> 数学的思考
兼任	准教授	大平 雅子 (34) <平成29年4月> 健康の科学
兼任	准教授	大村 啓喬 (35) <平成29年4月> 政治学からの問い 現代社会と政治
兼任	准教授	大山 政光 (48) <平成29年4月> 宇宙と地球
兼任	准教授	小野 善生 (42) <平成29年4月> 経営学からの問い 経営学
兼任	准教授	笠井 直樹 (37) <平成29年4月> 社会と会計 財務諸表分析論 財務諸表分析演習
兼任	准教授	金谷 太郎 (41) <平成29年4月> 数学への招待 ファイナンス論 ファイナンス演習
兼任	准教授	可児島 達夫 (48) <平成29年4月> 社会と会計 簿記会計A 簿記会計B 財務会計総論Ⅰ 財務会計総論Ⅱ
兼任	准教授	加納 圭 (36) <平成29年4月> 自然科学への招待
兼任	准教授	河相 俊之 (52) <平成29年4月> 経済学からの問い 数学的思考 ミクロ経済学A ミクロ経済学B
兼任	准教授	菊池 健太郎 (40) <平成29年4月> 数学への招待 ファイナンス論 ファイナンス演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	岩井 憲一 (50) <平成29年4月> 情報学への招待
兼任	准教授	榎本 雅之 (35) <平成29年4月> 身体運動の科学 スポーツ科学Ⅰ スポーツ科学Ⅱ
兼任	准教授	大清水 裕 (38) <平成29年4月> 欧米の歴史
兼任	准教授	大瀧 巖 (45) <平成29年4月> 数学的思考
兼任	准教授	大平 雅子 (34) <平成29年4月> 健康の科学
兼任	准教授	大村 啓喬 (35) <平成29年4月> 政治学からの問い 現代社会と政治
兼任	准教授	大山 政光 (48) <平成29年4月> 宇宙と地球
兼任	准教授	小野 善生 (42) <平成29年4月> 経営学からの問い 経営学
兼任	准教授	笠井 直樹 (37) <平成29年4月> 社会と会計 財務諸表分析論 財務諸表分析演習
兼任	准教授	金谷 太郎 (41) <平成29年4月> 数学への招待 ファイナンス論 ファイナンス演習
兼任	准教授	可児島 達夫 (48) <平成29年4月> 社会と会計 簿記会計A 簿記会計B 財務会計総論Ⅰ 財務会計総論Ⅱ
兼任	准教授	加納 圭 (37) <平成29年4月> 自然科学への招待
兼任	准教授	河相 俊之 (52) <平成29年4月> 経済学からの問い 数学的思考 ミクロ経済学A ミクロ経済学B
兼任	准教授	菊池 健太郎 (40) <平成29年4月> 数学への招待 ファイナンス論 ファイナンス演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	岩井 憲一 (51) <平成29年4月> 情報学への招待
兼任	准教授	榎本 雅之 (36) <平成29年4月> 身体運動の科学 スポーツ科学Ⅰ スポーツ科学Ⅱ
兼任	准教授	大清水 裕 (39) <平成29年4月> 欧米の歴史
兼任	准教授	大瀧 巖 (46) <平成29年4月> 数学的思考
兼任	准教授	大平 雅子 (35) <平成29年4月> 健康の科学
兼任	准教授	大村 啓喬 (36) <平成29年4月> 政治学からの問い 現代社会と政治
兼任	准教授	大山 政光 (49) <平成29年4月> 宇宙と地球
兼任	教授	小野 善生 (43) <平成29年4月> 経営学からの問い 経営学
兼任	准教授	笠井 直樹 (38) <平成29年4月> 社会と会計 財務諸表分析論 財務諸表分析演習
兼任	准教授	金谷 太郎 (42) <平成29年4月> 数学への招待 ファイナンス論 ファイナンス演習
兼任	准教授	可児島 達夫 (49) <平成29年4月> 社会と会計 簿記会計A 簿記会計B 財務会計総論Ⅰ 財務会計総論Ⅱ
兼任	准教授	加納 圭 (38) <平成29年4月> 自然科学への招待
兼任	准教授	河相 俊之 (53) <平成29年4月> 経済学からの問い 数学的思考 ミクロ経済学A ミクロ経済学B
兼任	准教授	菊池 健太郎 (41) <平成29年4月> 数学への招待 ファイナンス論 ファイナンス演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	菊地(恩地)利奈 (44) <平成29年4月> 大学英語入門 英語Ⅰa 英語Ⅱ 文学からの問い
兼任	准教授	衣笠(浅田)陽子 (36) <平成29年4月> 組織と会計 簿記会計A 簿記会計B 管理会計総論Ⅰ 管理会計総論Ⅱ
兼任	准教授	金 秉基 (48) <平成29年4月> 人間と社会
兼任	准教授	窪田 知子 (38) <平成29年4月> 福祉と教育
兼任	准教授	近藤 豊将 (43) <平成29年4月> 数学的思考 ミクロ経済学A ミクロ経済学B マクロ経済学A マクロ経済学B
兼任	准教授	坂田 雅夫 (42) <平成29年4月> 現代社会と法
兼任	准教授	笹尾 純治 (59) <平成29年4月> 大学英語入門 英語Ⅰa 英語Ⅱ 欧米の文学
兼任	准教授	佐野 洋史 (39) <平成29年4月> 現代の諸問題 ミクロ経済学A ミクロ経済学B 公的統計 公的統計演習
兼任	准教授	柴田 淳郎 (41) <平成29年4月> 経営学からの問い 経営学
兼任	准教授	竹中 厚雄 (42) <平成29年4月> 現代の企業と経営 経営学
兼任	准教授	武永 淳 (64) <平成29年4月> 社会の比較 日本国憲法 自己理解
兼任	准教授	竹村 幸祐 (37) <平成29年4月> 現代社会をみる目 心理分析論 心理分析演習
兼任	准教授	田中 勝也 (45) <平成29年4月> 滋賀大学で環境を学ぶ 地域文化情報論 ※ 地域文化情報演習 ※ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅱ データサイエンス 実践価値創造卒業演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造卒業演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	菊地(恩地)利奈 (44) <平成29年4月> 大学英語入門 英語Ⅰa 英語Ⅱ 文学からの問い
兼任	准教授	衣笠(浅田)陽子 (36) <平成29年4月> 組織と会計 簿記会計A 簿記会計B 管理会計総論Ⅰ 管理会計総論Ⅱ
兼任	教授	金 秉基 (48) <平成29年4月> 人間と社会
兼任	准教授	窪田 知子 (38) <平成29年4月> 福祉と教育
兼任	准教授	近藤 豊将 (43) <平成29年4月> 数学的思考 ミクロ経済学A ミクロ経済学B マクロ経済学A マクロ経済学B
兼任	准教授	坂田 雅夫 (42) <平成29年4月> 現代社会と法
兼任	准教授	笹尾 純治 (59) <平成29年4月> 大学英語入門 英語Ⅰa 英語Ⅱ 欧米の文学
兼任	准教授	佐野 洋史 (39) <平成29年4月> 現代の諸問題 ミクロ経済学A ミクロ経済学B 公的統計 公的統計演習
兼任	准教授	柴田 淳郎 (41) <平成29年4月> 経営学からの問い 地域共生論 経営学
兼任	准教授	竹中 厚雄 (42) <平成29年4月> 現代の企業と経営 経営学
兼任	准教授	武永 淳 (64) <平成29年4月> 社会の比較 日本国憲法 自己理解
兼任	准教授	竹村 幸祐 (37) <平成29年4月> 現代社会をみる目 心理分析論 心理分析演習
兼任	教授	田中 勝也 (45) <平成29年4月> 滋賀大学で環境を学ぶ 地域文化情報論 ※ 地域文化情報演習 ※ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅱ データサイエンス 実践価値創造卒業演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造卒業演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	菊地(恩地)利奈 (45) <平成29年4月> 大学英語入門 英語Ⅰa 英語Ⅱ 文学からの問い
兼任	准教授	衣笠(浅田)陽子 (37) <平成29年4月> 組織と会計 簿記会計A 簿記会計B 管理会計総論Ⅰ 管理会計総論Ⅱ
兼任	教授	金 秉基 (49) <平成29年4月> 人間と社会
兼任	准教授	窪田 知子 (39) <平成29年4月> 福祉と教育
兼任	教授	近藤 豊将 (44) <平成29年4月> 数学的思考 ミクロ経済学A ミクロ経済学B マクロ経済学A マクロ経済学B
兼任	准教授	坂田 雅夫 (43) <平成29年4月> 現代社会と法
兼任	准教授	笹尾 純治 (60) <平成29年4月> 大学英語入門 英語Ⅰa 英語Ⅱ 欧米の文学
兼任	准教授	佐野 洋史 (40) <平成29年4月> 現代の諸問題 ミクロ経済学A ミクロ経済学B 公的統計 公的統計演習
兼任	准教授	柴田 淳郎 (42) <平成29年4月> 経営学からの問い 地域共生論 経営学
兼任	准教授	竹中 厚雄 (43) <平成29年4月> 現代の企業と経営 経営学
兼任	准教授	武永 淳 (64) <平成29年4月> 社会の比較 日本国憲法 自己理解
兼任	准教授	竹村 幸祐 (38) <平成29年4月> 現代社会をみる目 心理分析論 心理分析演習
兼任	教授	田中 勝也 (46) <平成29年4月> 滋賀大学で環境を学ぶ 地域文化情報論 ※ 地域文化情報演習 ※ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造演習Ⅱ データサイエンス 実践価値創造卒業演習Ⅰ データサイエンス 実践価値創造卒業演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	谷上(齋藤)重紀 (54) <平成29年4月> 人間と心理
兼任	准教授	谷川 義行 (51) <平成29年4月> 数学への招待 ミクロ経済学A ミクロ経済学B
兼任	准教授	陳 韻如 (44) <平成29年4月> 日本と東アジア 経営学
兼任	准教授	恒川 雅典 (45) <平成29年4月> 物質とエネルギー
兼任	准教授	得田 雅章 (45) <平成29年4月> 経済学と現代 マクロ経済学A マクロ経済学B 計量経済学
兼任	准教授	富田 健一 (48) <平成29年4月> 情報通信の仕組み 情報リテラシー 情報理論
兼任	准教授	内藤 雄志 (51) <平成29年4月> 数学的思考 応用数学
兼任	准教授	中根 庸介 (40) <平成29年4月> 音楽の世界
兼任	准教授	西村 正秀 (44) <平成29年4月> 哲学からの問い 人間と倫理
兼任	准教授	二宮(鈴木)美那子 (39) <平成29年4月> 言語と文化
兼任	准教授	野瀬 昌彦 (45) <平成29年4月> 大学英語入門 英語Ⅰa 英語Ⅱ 言語と文化
兼任	准教授	能登 真規子 (43) <平成29年4月> 私法の世界
兼任	准教授	長谷川 武博 (39) <平成29年4月> 問題解決の手法
兼任	准教授	坂野 鉄也 (48) <平成29年4月> 歴史からの問い

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	谷上(齋藤)重紀 (54) <平成29年4月> 人間と心理
兼任	准教授	谷川 義行 (51) <平成29年4月> 数学への招待 ミクロ経済学A ミクロ経済学B
兼任	准教授	陳 韻如 (44) <平成29年4月> 日本と東アジア 経営学
兼任	准教授	恒川 雅典 (45) <平成29年4月> 物質とエネルギー
兼任	教授	得田 雅章 (45) <平成29年4月> 経済学と現代 マクロ経済学A マクロ経済学B 計量経済学
兼任	准教授	富田 健一 (48) <平成29年4月> 情報通信の仕組み 情報リテラシー 情報理論
兼任	准教授	内藤 雄志 (51) <平成29年4月> 数学的思考 応用数学
兼任	准教授	中根 庸介 (40) <平成29年4月> 音楽の世界
兼任	准教授	西村 正秀 (44) <平成29年4月> 哲学からの問い 人間と倫理
兼任	准教授	二宮(鈴木)美那子 (39) <平成29年4月> 言語と文化
兼任	准教授	野瀬 昌彦 (45) <平成29年4月> 大学英語入門 英語Ⅰa 英語Ⅱ 言語と文化
兼任	准教授	能登 真規子 (43) <平成29年4月> 私法の世界
兼任	准教授	長谷川 武博 (39) <平成29年4月> 問題解決の手法
兼任	准教授	坂野 鉄也 (48) <平成29年4月> 歴史からの問い

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	谷上(齋藤)重紀 (55) <平成29年4月> 人間と心理
兼任	准教授	谷川 義行 (52) <平成29年4月> 数学への招待 ミクロ経済学A ミクロ経済学B
兼任	准教授	陳 韻如 (45) <平成29年4月> 日本と東アジア 経営学
兼任	教授	恒川 雅典 (46) <平成29年4月> 物質とエネルギー
兼任	教授	得田 雅章 (46) <平成29年4月> 経済学と現代 マクロ経済学A マクロ経済学B 計量経済学
兼任	准教授	富田 健一 (49) <平成29年4月> 情報通信の仕組み 情報リテラシー 情報理論
兼任	准教授	内藤 雄志 (52) <平成29年4月> 数学的思考 応用数学
兼任	准教授	中根 庸介 (41) <平成29年4月> 音楽の世界
兼任	准教授	西村 正秀 (45) <平成29年4月> 哲学からの問い 人間と倫理
兼任	准教授	二宮(鈴木)美那子 (40) <平成29年4月> 言語と文化
兼任	准教授	野瀬 昌彦 (46) <平成29年4月> 大学英語入門 英語Ⅰa 英語Ⅱ 言語と文化
兼任	准教授	能登 真規子 (44) <平成29年4月> 私法の世界
兼任	准教授	長谷川 武博 (40) <平成29年4月> 問題解決の手法
兼任	准教授	坂野 鉄也 (49) <平成29年4月> 歴史からの問い

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	馬場(橋本)義弘 (56) <平成29年4月> 平和教育 近江の歴史
兼任	准教授	平畑 奈美 (50) <平成29年4月> 教育と文化
兼任	准教授	藤岡 俊博 (37) <平成29年4月> 哲学からの問い
兼任	准教授	藤田 昌宏 (54) <平成29年4月> 美術の世界
兼任	准教授	藤村 祐子 (34) <平成29年4月> 教育と社会
兼任	准教授	増山 裕一 (58) <平成29年4月> 現代社会と法
兼任	准教授	松下 京平 (36) <平成29年4月> 環境問題を学ぶ ※
兼任	准教授	松田 繁樹 (39) <平成29年4月> 身体運動の科学
兼任	准教授	松田(早川)有加 (43) <平成29年4月> 経済学からの問い
兼任	准教授	松丸 真大 (43) <平成29年4月> 言語と文化
兼任	准教授	宮西 賢次 (53) <平成29年4月> 社会と会計 簿記会計A 簿記会計B 管理会計総論Ⅰ 管理会計総論Ⅱ 財務諸表分析論 財務諸表分析演習
兼任	准教授	宮本(林)結佳 (36) <平成29年4月> 環境問題を学ぶ
兼任	准教授	村松 郁夫 (54) <平成29年4月> 情報化と社会 情報リテラシー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	馬場(橋本)義弘 (57) <平成29年4月> 平和教育 近江の歴史
兼任	准教授	藤岡 俊博 (37) <平成29年4月> 哲学からの問い
兼任	准教授	藤田 昌宏 (54) <平成29年4月> 美術の世界
兼任	准教授	藤村 祐子 (34) <平成29年4月> 教育と社会
兼任	准教授	増山 裕一 (58) <平成29年4月> 現代社会と法
兼任	准教授	松下 京平 (36) <平成29年4月> 環境問題を学ぶ ※
兼任	准教授	松田 繁樹 (39) <平成29年4月> 身体運動の科学
兼任	准教授	松田(早川)有加 (43) <平成29年4月> 経済学からの問い
兼任	教授	松丸 真大 (43) <平成29年4月> 言語と文化
兼任	准教授	宮西 賢次 (54) <平成29年4月> 社会と会計 簿記会計A 簿記会計B 管理会計総論Ⅰ 管理会計総論Ⅱ 財務諸表分析論 財務諸表分析演習
兼任	准教授	宮本(林)結佳 (36) <平成29年4月> 環境問題を学ぶ
兼任	准教授	村松 郁夫 (54) <平成29年4月> 情報化と社会 情報リテラシー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	馬場(橋本)義弘 (58) <平成29年4月> 平和教育 近江の歴史
兼任	准教授	藤岡 俊博 (38) <平成29年4月> 哲学からの問い
兼任	教授	藤田 昌宏 (55) <平成29年4月> 美術の世界
兼任	准教授	藤村 祐子 (35) <平成29年4月> 教育と社会
兼任	教授	増山 裕一 (59) <平成29年4月> 現代社会と法
兼任	准教授	松下 京平 (37) <平成29年4月> 環境問題を学ぶ ※
兼任	准教授	松田 繁樹 (40) <平成29年4月> 身体運動の科学
兼任	教授	松田(早川)有加 (44) <平成29年4月> 経済学からの問い
兼任	教授	松丸 真大 (44) <平成29年4月> 言語と文化
兼任	准教授	宮西 賢次 (55) <平成29年4月> 社会と会計 簿記会計A 簿記会計B 管理会計総論Ⅰ 管理会計総論Ⅱ 財務諸表分析論 財務諸表分析演習
兼任	准教授	宮本(林)結佳 (37) <平成29年4月> 環境問題を学ぶ
兼任	准教授	村松 郁夫 (55) <平成29年4月> 情報化と社会 情報リテラシー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	山下 悠 (36) <平成29年4月> 現代の企業と経営 情報リテラシー 経営学 ビジネスエコノミクス論 ビジネスエコノミクス演習	兼任	准教授	山下 悠 (36) <平成29年4月> 現代の企業と経営 情報リテラシー 経営学 ビジネスエコノミクス論 ビジネスエコノミクス演習	兼任	准教授	山下 悠 (37) <平成29年4月> 現代の企業と経営 情報リテラシー 経営学 ビジネスエコノミクス論 ビジネスエコノミクス演習
兼任	准教授	吉川 英治 (51) <平成29年4月> 人間と倫理 人間と経済 ミクロ経済学A ミクロ経済学B 実践データ概論B ※	兼任	准教授	吉川 英治 (51) <平成29年4月> 人間と倫理 人間と経済 ミクロ経済学A ミクロ経済学B 実践データ概論B ※	兼任	准教授	吉川 英治 (52) <平成29年4月> 人間と倫理 人間と経済 ミクロ経済学A ミクロ経済学B 実践データ概論B ※
兼任	准教授	渡邊 史 (43) <平成29年4月> 音楽の世界	兼任	准教授	渡邊 史 (43) <平成29年4月> 音楽の世界	兼任	准教授	渡邊 史 (44) <平成29年4月> 音楽の世界
兼任	准教授	和田 佳之 (52) <平成29年4月> 環境問題を学ぶ ※ ミクロ経済学A ミクロ経済学B	兼任	准教授	和田 佳之 (52) <平成29年4月> 環境問題を学ぶ ※ ミクロ経済学A ミクロ経済学B	兼任	准教授	和田 佳之 (53) <平成29年4月> 環境問題を学ぶ ※ ミクロ経済学A ミクロ経済学B
			兼任	准教授	芦谷 道子 (47) <平成29年4月> 教育と文化	兼任	教授	芦谷 道子 (48) <平成29年4月> 教育と文化
			兼任	准教授	井ノ口 史 (46) <平成29年4月> 文学からの問い	兼任	准教授	井ノ口 史 (47) <平成29年4月> 文学からの問い
			兼任	准教授	渡邊 曉彦 (46) <平成29年4月> 日本国憲法	兼任	准教授	渡邊 曉彦 (47) <平成29年4月> 日本国憲法
						兼任	准教授	長岡 由記 (37) <平成30年4月> 言語と文化
						兼任	准教授	平松 紀代子 (49) <平成30年4月> 福祉と教育
						兼任	特別 招聘 准教授	片山 雅志 (47) <平成30年4月> 経済学からの問い
						兼任	特任 准教授	入江 直樹 (57) <平成30年4月> キャリアデザイン論
						兼任	特任 准教授	柴田 雅美 (50) <平成30年4月> 地域共生論
兼任	講師	井澤 龍 (30) <平成29年4月> 経営学	兼任	准教授	井澤 龍 (30) <平成29年4月> 経営学	兼任	准教授	井澤 龍 (31) <平成29年4月> 経営学
兼任	講師	加登本 仁 (32) <平成29年4月> 身体運動の科学	兼任	准教授	加登本 仁 (32) <平成29年4月> 身体運動の科学	兼任	准教授	加登本 仁 (33) <平成29年4月> 身体運動の科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	須永 知彦 (49) <平成29年4月>	兼任	講師	須永 知彦 (49) <平成29年4月>	兼任	講師	須永 知彦 (50) <平成29年4月>
		法学からの問い 情報倫理 ※			法学からの問い 情報倫理 ※			法学からの問い 情報倫理 ※
兼任	講師	實野 滋 (62) <平成29年4月>	兼任	講師	實野 滋 (62) <平成29年4月>	兼任	講師	實野 滋 (63) <平成29年4月>
		現代社会をみる目			現代社会をみる目			現代社会をみる目
								藤永 暉 (33) <平成30年4月>
								心理学概論
兼任	外国人教師	Paul Daniel Tanner (58) <平成29年4月>	兼任	外国人教師	Paul Daniel Tanner (58) <平成29年4月>	兼任	講師	Paul Daniel Tanner (59) <平成29年4月>
		英会話基礎 英語 I b 英語 II			英会話基礎 英語 I b 英語 II			英会話基礎 英語 I b 英語 II
兼任	外国人教師	Karl Hedberg (49) <平成29年4月>	兼任	外国人教師	Karl Hedberg (49) <平成29年4月>	兼任	講師	Karl Hedberg (50) <平成29年4月>
		英会話基礎 英語 I b 英語 II			英会話基礎 英語 I b 英語 II			英会話基礎 英語 I b 英語 II
			兼任	特任講師	小倉 圭 (28) <平成29年4月>	兼任	特任講師	小倉 圭 (29) <平成29年4月>
					スポーツ科学 I スポーツ科学 II			身体運動の科学 スポーツ科学 I スポーツ科学 II
			兼任	特任講師	SEAN DANIEL GAFFNEY (60) <平成29年4月>	兼任	特任講師	SEAN DANIEL GAFFNEY (61) <平成29年4月>
					英会話基礎 英語 I b			英会話基礎 英語 I b 英語 II
						兼任	助教	荒井 隆 (32) <平成30年4月>
								線形代数演習
						兼任	助教	岩山 幸治 (34) <平成30年4月>
								線形代数演習 プレゼンテーション 論
						兼任	助教	紅林 亘 (30) <平成30年4月>
								解析学演習
						兼任	助教	高柳 昌芳 (37) <平成30年4月>
								プログラミング I 演習
						兼任	助教	中河 嘉明 (33) <平成30年4月>
								プログラミング I 演習
						兼任	助教	保科 架風 (32) <平成30年4月>
								解析学演習 プレゼンテーション 論



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	江崎 麻里 (45) <平成29年4月>	兼任	講師	江崎 麻里 (46) <平成29年4月>
					欧米の文化			欧米の文化
			兼任	講師	太田 拓紀 (42) <平成29年4月>	兼任	講師	太田 拓紀 (43) <平成29年4月>
					人間と社会			人間と社会
			兼任	講師	大久保 克己 (74) <平成29年4月>	兼任	講師	大久保 克己 (75) <平成29年4月>
					数学的思考			数学的思考
			兼任	講師	大森 仁 (33) <平成29年4月>	兼任	講師	大森 仁 (33) <平成29年4月>
					論理の世界 自然言語の世界			論理の世界 自然言語の世界
			兼任	講師	大谷 宗啓 (41) <平成29年4月>	兼任	講師	大谷 宗啓 (42) <平成29年4月>
					自己理解			自己理解
			兼任	講師	織田 陽介 (36) <平成29年4月>	兼任	講師	織田 陽介 (37) <平成29年4月>
					マクロ経済学A			マクロ経済学A
			兼任	講師	神山 進 (68) <平成29年4月>	兼任	講師	神山 進 (69) <平成29年4月>
					衣と暮らし			消費と社会 衣と暮らし
			兼任	講師	鈴木 雅子 (37) <平成29年4月>	兼任	講師	鈴木 雅子 (38) <平成29年4月>
					文化の歴史			文化の歴史
			兼任	講師	田中 久美子 (45) <平成29年4月>	兼任	講師	田中 久美子 (46) <平成29年4月>
					人間と心理			人間と心理
			兼任	講師	田中 謙太 (25) <平成29年4月>	兼任	講師	田中 謙太 (26) <平成29年4月>
					日本国憲法			日本国憲法
			兼任	講師	中塚 智子 (34) <平成29年4月>	兼任	講師	中塚 智子 (35) <平成29年4月>
					メディアと情報 情報学への招待			メディアと情報 情報学への招待
			兼任	講師	野部 博子 (72) <平成29年4月>	兼任	講師	野部 博子 (73) <平成29年4月>
					文化への問い			文化への問い
			兼任	講師	長谷川 博 (69) <平成29年4月>	兼任	講師	長谷川 博 (70) <平成29年4月>
					生命と物質			生命と物質
			兼任	講師	林 泰子 (60) <平成29年4月>	兼任	講師	林 泰子 (61) <平成29年4月>
					情報教育概論			情報教育概論



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	細谷 宏 (47) <平成29年4月>	兼任	講師	細谷 宏 (48) <平成29年4月>
					情報化と社会			情報化と社会
			兼任	講師	船戸 成子 (65) <平成29年4月>	兼任	講師	船戸 成子 (66) <平成29年4月>
					大学英語入門 英語 I a			大学英語入門 英語 I a 英語 II
			兼任	講師	松本 行弘 (69) <平成29年4月>	兼任	講師	松本 行弘 (70) <平成29年4月>
					人間と存在			人間と存在
			兼任	講師	三神 憲一 (70) <平成29年4月>	兼任	講師	三神 憲一 (71) <平成29年4月>
					スポーツ科学 I スポーツ科学 II			身体運動の科学 スポーツ科学 I スポーツ科学 II
			兼任	講師	吉富 千恵 (44) <平成29年4月>	兼任	講師	吉富 千恵 (45) <平成29年4月>
					言語と文化 キャリアデザイン論			言語と文化 キャリアデザイン論
						兼任	講師	Ashley Stevens (38) <平成30年4月>
								英語 II
						兼任	講師	Atkins Andrew (48) <平成30年4月>
								英会話基礎 英語 I b 英語 II
						兼任	講師	小笠 智章 (60) <平成30年4月>
								東アジアの多様性の 理解
						兼任	講師	小熊 猛 (52) <平成30年4月>
								英語 II
						兼任	講師	川井 千枝 (53) <平成30年4月>
								身体運動の科学 スポーツ科学 I スポーツ科学 II
						兼任	講師	木村 英一 (45) <平成30年4月>
								日本の歴史
						兼任	講師	佐久間 思帆 (45) <平成30年4月>
								英語 II
						兼任	講師	篠田 朝也 (42) <平成30年4月>
								管理会計総論 II
						兼任	講師	武永 淳 (65) <平成30年4月>
								社会の比較 日本国憲法 自己理解

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						兼任	講師	森永 弘司 (64) <平成30年4月> 英語Ⅱ
						兼任	講師	山下 直紀 (46) <平成30年4月> 簿記会計Ⅱ
						兼任	講師	頼 誠 (60) <平成30年4月> 管理会計総論Ⅰ
						兼任	講師	Randell Nigel (55) <平成30年4月> 英語Ⅱ

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
  - ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
  - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・教育課程充実のため、鈴木康夫教授「兼任」に担当授業科目の追加。「近江とびわ湖Ⅰ」
- ・教育課程充実のため、神山保教授「兼任」を追加。「メディアツール活用法」
- ・金兼基准教授「兼任」が教授に昇任。
- ・教育課程充実のため、柴田淳郎准教授「兼任」に担当授業科目の追加。「地域共生論」
- ・田中勝也准教授「兼任」が教授に昇任。
- ・得田雅幸准教授「兼任」が教授に昇任。
- ・松丸真大准教授「兼任」が教授に昇任。
- ・平畑奈美准教授「兼任」退職により、声谷道子准教授「兼任」に変更。「教育と文化」
- ・教育課程充実のため、井ノ口史准教授「兼任」を追加。「文学からの問い」
- ・教育課程充実のため、渡邊暁彦准教授「兼任」を追加。「日本国憲法」
- ・井澤龍講師「兼任」が准教授に昇任。
- ・加登本仁講師「兼任」が准教授に昇任。
- ・教育課程充実のため、小倉圭特任講師「兼任」を追加。「スポーツ科学Ⅰ」「スポーツ科学Ⅱ」
- ・教育課程充実のため、SEAN DANIEL GAFFNEY特任講師「兼任」を追加。「英会話基礎」「英語Ⅰb」
- ・教育課程充実のため、福永知世講師「兼任」を追加。「自然言語の世界」
- ・教育課程充実のため、上田洋平講師「兼任」を追加。「近江のくらしと文化」
- ・教育課程充実のため、江崎麻里講師「兼任」を追加。「欧米の文化」
- ・教育課程充実のため、太田拓紀講師「兼任」を追加。「人間と社会」
- ・教育課程充実のため、大久保克己講師「兼任」を追加。「数学的思考」
- ・教育課程充実のため、大森仁講師「兼任」を追加。「論理の世界」「自然言語の世界」
- ・教育課程充実のため、大谷宗啓講師「兼任」を追加。「自己理解」
- ・教育課程充実のため、織田陽介講師「兼任」を追加。「マクロ経済学A」
- ・教育課程充実のため、神山進講師「兼任」を追加。「衣と暮らし」
- ・教育課程充実のため、鈴木雅子講師「兼任」を追加。「文化の歴史」
- ・教育課程充実のため、田中久美子講師「兼任」を追加。「人間と心理」
- ・教育課程充実のため、田中謙太講師「兼任」を追加。「日本国憲法」
- ・教育課程充実のため、中塚智子講師「兼任」を追加。「メディアと情報」「情報学への招待」
- ・教育課程充実のため、野野博子講師「兼任」を追加。「文化への問い」
- ・教育課程充実のため、長谷川博講師「兼任」を追加。「生命と物質」
- ・教育課程充実のため、林泰子講師「兼任」を追加。「情報教育概論」
- ・教育課程充実のため、細谷宏講師「兼任」を追加。「情報化と社会」
- ・教育課程充実のため、船戸成子講師「兼任」を追加。「大学英語入門」「英語Ⅰa」
- ・教育課程充実のため、松本行弘講師「兼任」を追加。「人間と存在」
- ・教育課程充実のため、三神憲一講師「兼任」を追加。「スポーツ科学Ⅰ」「スポーツ科学Ⅱ」
- ・教育課程充実のため、吉富千恵講師「兼任」を追加。「言語と文化」「キャリアデザイン論」

【平成30年度】

- ・平成30年4月河本薫教授就任。1年前倒し就任に伴う担当授業科目の追加。平成30年2月教員審査済。
- ・「線形代数への招待」「解析学への招待」「確率への招待」「データサイエンスへの招待」「プレゼンテーション論」「データサイエンス入門演習」「データサイエンスフィールドワーク演習」。
- ・平成30年2月市川治教授就任。平成30年2月教員審査済。
- ・平成30年1月佐藤智和教授就任。平成30年2月教員審査済。
- ・教育課程充実のため、梅津高朗准教授に担当授業科目の追加。平成30年2月教員審査済。「情報ネットワーク」
- ・平成30年4月清水昌平准教授、教授に昇任。平成30年2月教員審査済。
- ・教育課程充実のため、姫野哲人准教授に担当授業科目の追加。平成30年6月提出予定。「解析学」
- ・小倉明浩教授「兼任」が理事・副学長に就任。
- ・教育課程充実のため、市川智史教授「兼任」を追加。「環境教育概論」
- ・教育課程充実のため、齋藤浩文教授「兼任」を追加。「論理の世界」
- ・教育課程充実のため、鈴木宏昌教授「兼任」を追加。「メディアツール活用法」
- ・教育課程充実のため、水上善博教授「兼任」を追加。「メディアツール活用法」
- ・教育課程充実のため、若松亮亮教授「兼任」を追加。「キャリアデザイン論」
- ・教育課程充実のため、北村裕明特任教授「兼任」を追加。「まちと住まい」
- ・出原健一准教授「兼任」が教授に昇任。
- ・小野善生准教授「兼任」が教授に昇任。
- ・近藤豊将准教授「兼任」が教授に昇任。
- ・恒川雅典准教授「兼任」が教授に昇任。
- ・藤田昌宏准教授「兼任」が教授に昇任。
- ・増山裕一准教授「兼任」が教授に昇任。
- ・松田（早川）有加准教授「兼任」が教授に昇任。
- ・声谷道子准教授「兼任」が教授に昇任。
- ・教育課程充実のため、長岡由記准教授「兼任」を追加。「言語と文化」
- ・教育課程充実のため、平松紀子准教授「兼任」を追加。「福祉と教育」
- ・教育課程充実のため、片山雅志特別招聘准教授「兼任」を追加。「経済学からの問い」
- ・教育課程充実のため、入江直樹特任准教授「兼任」を追加。「キャリアデザイン論」
- ・教育課程充実のため、柴田雅美特任准教授「兼任」を追加。「地域共生論」
- ・教育課程充実のため、蔵永瞳講師「兼任」を追加。「心理学概論」
- ・Paul Daniel Tanner外国人教師「兼任」が講師に転換。
- ・Karl Hedberg外国人教師「兼任」が講師に転換。
- ・教育課程充実のため、小倉圭特任講師「兼任」に担当授業科目の追加。「身体運動の科学」
- ・教育課程充実のため、SEAN DANIEL GAFFNEY特任講師「兼任」に担当授業科目の追加。「英語Ⅱ」
- ・教育課程充実のため、荒井隆助教「兼任」を追加。「線形代数演習」
- ・教育課程充実のため、岩山幸治助教「兼任」を追加。「線形代数演習」「プレゼンテーション論」
- ・教育課程充実のため、紅林昌助教「兼任」を追加。「解析学演習」
- ・教育課程充実のため、高柳昌芳助教「兼任」を追加。「プログラミングⅠ演習」
- ・教育課程充実のため、中河嘉明助教「兼任」を追加。「プログラミングⅠ演習」
- ・教育課程充実のため、保科架風助教「兼任」を追加。「解析学演習」「プレゼンテーション論」
- ・教育課程充実のため、神山進講師「兼任」に担当授業科目の追加。「消費と社会」
- ・教育課程充実のため、船戸成子講師「兼任」に担当授業科目の追加。「英語Ⅱ」
- ・教育課程充実のため、三神憲一講師「兼任」に担当授業科目の追加。「身体運動の科学」
- ・教育課程充実のため、Ashley Stevens講師「兼任」を追加。「英語Ⅱ」
- ・教育課程充実のため、Atkins Andrew講師「兼任」を追加。「英会話基礎」「英語Ⅰb」「英語Ⅱ」
- ・教育課程充実のため、小笠章講師「兼任」を追加。「東アジアの多様性の理解」
- ・教育課程充実のため、小熊猛講師「兼任」を追加。「英語Ⅱ」
- ・教育課程充実のため、川井千枝講師「兼任」を追加。「身体運動の科学」「スポーツ科学Ⅰ」「スポーツ科学Ⅱ」
- ・教育課程充実のため、木村英一講師「兼任」を追加。「日本の歴史」
- ・教育課程充実のため、佐久間恵助講師「兼任」を追加。「英語Ⅱ」
- ・教育課程充実のため、篠田朝也講師「兼任」を追加。「管理会計総論Ⅱ」
- ・教育課程充実のため、武永淳講師「兼任」を追加。「社会の比較」「日本国憲法」「自己理解」
- ・教育課程充実のため、森永弘司講師「兼任」を追加。「英語Ⅱ」
- ・教育課程充実のため、山下直紀講師「兼任」を追加。「簿記会計ⅡB」
- ・教育課程充実のため、頼誠講師「兼任」を追加。「管理会計総論Ⅰ」
- ・教育課程充実のため、Randell Nigel講師「兼任」を追加。「英語Ⅱ」

(注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ **経**で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。  
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
8	7	2	0	17	10	6	2	0	18	11	6	2	0	19
(6)	(7)	(2)	(0)	(15)						[ 3 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 2 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	1 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{19}{17} = \boxed{111.76} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{1}{18} = \boxed{5.55} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} \times 100\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
			必修			
			選択			
			必修	該当なし		
			自由			
			必修			
			必修			
合計				後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	該当なし		科目	選択	科目
	自由			科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年8月)	<p>データサイエンス教育研究センターの役割として、「教材開発」や「PBL演習教材の開発」が挙げられているが、その実施体制や、収集するデータ及び教材の準備について、今後も着実に履行すること。また、データサイエンス教育研究センターの組織的な体制（データ収集・加工・教材への活用等）について、今後も持続性や発展性を持った運営に努めること。</p>	<p>データサイエンス教育研究センターでは、DS基礎研究（機械学習、最適化等の研究・国際シンポジウム）、DS価値創造プロジェクト（各領域でのデータ利活用（企業や自治体などとの連携））、DS教育開発（価値創造プロジェクトによるデータ駆動型PBL演習教材の開発・MOOC教材など）、DS調査・情報発信（海外動向、育成人材調査・セミナー）の4つを主な機能としており、そのいずれにも重要となる企業、自治体、経済団体等との連携を精力的に進め、28年度だけでも50を超える機関とデータ提供、共同研究、インターンシップ、実務家による講義提供など様々な形での連携に向けて協議を行い、従前からの連携先に加え、新たに16の機関と連携協定の締結、2企業との共同研究契約を締結した。また、協定の締結という形態に至らずとも、実務家講師の派遣やデータ提供等、数多くの機関から実質的な協力が得られることとなった。</p> <p>なお、センターには、センター長その他、3名の副センター長、4名の助教、学部教員、特任講師等を配置するなどセンター機能の充実を図っている。(29)</p> <p>29年度は150を超える機関と連携に向けて協議を行い、新たに12の機関との連携協定の締結、16の企業等と共同研究等を締結し、数多くの成果も上げている。これらの連携のもと、購買履歴データ、人の移動履歴、環境データ等、様々なデータの教材利用が可能となっており、今後もPBL演習教材の開発を拡大していく。</p> <p>なお、30年度からは、副センター長を2名増員、また、助教も2名増員するなど、より一層のセンター機能の充実を図っている。(30)</p>	<p>未履行</p> <p>引き続き、企業等との連携を進めていき、これらの連携のもと、教材の開発を拡大していく。(30)</p>

<p>設置時</p> <p>(平成28年8月)</p>	<p>「文理融合」をより一層進めるため、「データコンサルタント型」においては、「価値創造基礎科目」と「データサイエンス基礎科目」を融合させる取組として、「価値創造基礎科目」を1年次から体系的に履修できるよう、配当年次を検討するとともに、ガイダンスやゼミだけでなく、チューター制度やメンター制度等を設け、常時学生の修学を支援する制度を設けること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>「データコンサルタント型」において、「価値創造基礎科目」を1年次から体系的に履修できるよう、配当年次を検討し、1年前期から履修できることが明確に分かるように、3つの履修モデルとカリキュラムマップを修正した。(別添：3つの履修モデルとカリキュラムマップ)</p> <p>本学は、優秀な学部学生に対し、教育的配慮の下に、学部において教育への補助に参画させることを通じて、当該学生への教育効果を期待すると同時に、学部教育における学習支援機能を充実し、学習面における先輩後輩(学生)間の相互扶助文化の醸成を制度的にサポートすることを目的とする、学習アシスタント制度を設けており、学生の修学支援を全学的に行う体制を整えている。(別添：国立大学法人滋賀大学学習アシスタント実施要項)</p> <p>また、データサイエンス棟1階に「DSラーニング・コモンズ」を設け、学生が自由に学習できるスペースを確保すると同時に、毎週特定の時間帯に学部教員数名がDSラーニング・コモンズに常駐することとした。オープンスペースであるDSラーニング・コモンズを使用することで、学生が学生生活、修学等に関し、気兼ねなく相談できる環境を整えた。加えて、1、2年次の学生の様々なサポートのため、チューター教員制度を設け、きめ細かい指導を行う体制も整えた(3年次以降は、ゼミの教員がチューターの役割を引き継ぐ)。(29)</p> <p>新入生オリエンテーションで、チューター教員制度を説明し、入学直後から学生の修学を支援している。(30)</p>	<p>履行済</p>
-----------------------------	--	-------------	--	------------

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。



- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<データサイエンス学部 データサイエンス学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>8 入学者選抜の概要</p> <p>(2) 入学者選抜方法</p> <p>①アドミッション・オフィス入試</p> <p>「高大連携・接続型」、「データコンペ活用型」 「一般型」</p> <p>統計検定3級以上の合格者、独立行政法人情報処理推進機構主催基本情報技術者試験以上の合格者、財団法人全国商業高等学校協会主催情報処理検定試験各部門第1級合格者については、資格取得実績を加点する。</p> <p>10 管理運営</p> <p>(2) 教授会、学部運営会議及び人事委員会</p> <p>学部運営会議は、学部長及び学部長の指名する副学部長（2名）により組織</p>	<p>「データサイエンス講座受講型」、「実績評価型」「オンライン講座受講型」に、名称変更した。(29)</p> <p>日本規格協会主催品質管理検定（3級以上の合格者）を追加した。(29)</p> <p>副学部長を1名追加し、3名体制とした。(29)</p>

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>国立大学法人滋賀大学教育・学生支援機構 教育推進部門 別添規程のとおり</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>国立大学法人滋賀大学教育・学生支援機構 教育推進部門</p> <p>全4回：委員7名 理事（教育・学術担当）、教育学部1名、経済学部1名、データサイエンス学部1名、国際センター1名、高大接続・入試センター1名、学務課長</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>全学の教育に関する事項全般、FD研修に関する事、全学の教育システムに関する事等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関西FD参加大学のFD講習会の学内周知、参加仲介</li> <li>・教育実践優秀賞の選考</li> <li>・教育改革フォーラムの開催</li> <li>・教育改革への取組みと助成</li> <li>・FD事業報告書の編集・発行</li> <li>・FD情報誌の編集・発行 等</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・学生支援機構教育推進部門が企画を行い、学務課が各学部と連携し実施・運営を行う。</li> </ul>
---

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・「授業の基本」研修会（関西地区FD連絡協議会共催）
  - －授業の基本と授業づくり－  
【滋賀県立大学開催：平成29年8月10日、参加者2名】
- ・平成29年度滋賀大学第1回教育改革フォーラム
  - －コミュニケーションを苦手とする学生への修学指導と成績評価－  
【開催：平成29年10月6日（大津キャンパス）参加者27名】  
【開催：平成29年11月2日（彦根キャンパス）参加者21名】
- ・平成29年度滋賀大学第2回教育改革フォーラム
  - －アクティブ・ラーニングと地域連携を考える－  
【開催：平成29年11月24日、参加者12名】
- ・SULMS操作（利用促進）説明会
  - 【開催：平成29年10月19日、26日、11月9日（彦根キャンパス）参加者7名】  
【開催：平成29年12月27日、平成30年3月5日（大津キャンパス）参加者11名】

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成29年度に、学部・全学センターを横断的に統括する教育・学生支援機構を立ち上げ、機構配下の教育推進部門として体制を整備した。平成29年度の活動は、学部・全学センターとの連携を密にし、実りある事業を計画し、より多くの方に参加していただけるよう実施した。今後も、全学を挙げてFDの推進に取り組む。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・実施 有（毎年度毎学期）
- ・実施の時期 前期：7月下旬、後期：1月下旬

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・教員へは、集計及び分析結果を文書で返却し、受講傾向、成績等と併せ授業の改善・発展の手がかりとなるよう活用してもらっている。
- ・学生へは、滋賀大学学習管理システム（SULMS）にて、集計結果を掲載し、学生にフィードバックしている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を達成するため、計画に基づき実施している。今後も更なる学部の充実・発展に取り組む。

2016年度に引き続き、2017年度も150以上の企業、機関等とのコンタクトをとり、28の機関等との連携協定及び共同研究契約等を結んだ。これらの連携を29年度よりスタートした本学部の教育に組み込み、学内外のデータサイエンス人材の育成に取り組んでいる。

大学初年次から学生の意欲を高めるため、様々なデータサイエンスの事例を紹介したり、意欲のある学生については自主ゼミという形で講義より先行して様々なことを学習することで、1年生の段階から対外的なコンペティション等に参加し、入賞という結果も残している。

また、全国的なデータサイエンス教育の展開に向け、「高校生のためのデータサイエンス入門」、「大学生のためのデータサイエンス(I)」をMOOCで作成し、公開していく。また、「数理及びデータサイエンスに係る教育強化」の拠点校の1つとして、連携校と協力し10冊のテキストの執筆、および本学独自で教科書シリーズの執筆に向けて取り組みを進めている。2017年度にデータ関連人材育成プログラムの代表機関となった大阪大学とも参画機関の一員として、高度人材育成に向けての取り組みも進めていく。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

- ・平成30年12月予定

##### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成27年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価を受け、「大学評価基準を満たしている」と判定された。次回は、平成33年度に評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

##### a ホームページに公表（予定）の有無

(  有 ・  無 )

##### b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期

( 平成30年 5月 末日 )

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

# 3つの履修モデルとカリキュラムマップ

1年	2年	3年	4年
<b>学部共通の修得科目</b>			
<p>【教養教育科目群】数学基礎・導入</p> <p>データサイエンス入門、線形代数への招待、解析学への招待、確率への招待</p> <p>【専門教育科目群】</p> <p>【データサイエンス基礎科目】 〈データエンジニアリング系科目〉</p> <p>計算機利用基礎 データ構造とアルゴリズム データベース 情報科学概論 プログラミングⅠ</p> <p>〈データアナリシス系科目〉</p> <p>解析学 統計数学 回帰分析 線形代数 統計学要論 多変量解析入門</p> <p>〈データ解析科目〉</p> <p>基礎情報活用演習A, B</p> <p>【価値創造基礎科目】</p> <p>プレゼンテーション論 データサイエンス実践論 価値創造方法論 情報倫理 実践データ概論 価値創造実践論等</p>		<p>【卒業要件】</p> <p>【教養教育科目群】 29単位以上 大学入門科目 2単位 全学共通教養科目 20単位 外国語科目 5単位 体育科目 2単位</p> <p>【専門教育科目群】 99単位以上 データサイエンス基礎科目 〈データエンジニアリング系科目〉 11単位 〈データアナリシス系科目〉 16単位 〈データ解析科目〉 4単位 データサイエンス専門科目 自由選択 価値創造基礎科目 8単位以上 価値創造応用科目 9単位以上 データ駆動型PBL演習科目 12単位 合計 128単位以上</p>	
		【価値創造応用科目】 各種領域分野における講義及び演習セット	
<b>型別の修得科目</b>			
<p>◆ データエンジニア型</p> <p>進路：IT系企業、シンクタンク、製薬企業、医療機関、企業のデータ分析部門、大学院等</p>	<p>【データサイエンス専門科目】</p> <p>プログラミングⅡ、Ⅲ 情報セキュリティ 最適化理論 ビジュアルプログラミング 情報ネットワーク データマイニング総論 応用数学 情報理論 情報学特論（人工知能） プログラミング設計 機械学習 情報活用演習等</p>		
	【データ駆動型PBL演習科目】	情報科学系教員ゼミ	
	DS入門演習 DSフィールドワーク演習	DS実践価値創造演習 DS上級実践価値創造卒業演習	
<p>◆ データアナリスト型</p> <p>進路：経営コンサルタント、シンクタンク、製薬企業、医療機関、企業の財務経理/マーケティング/生産管理、企業のデータ分析部門、大学院等</p>	<p>【データサイエンス専門科目】</p> <p>多変量解析 時系列解析 統計学特論 テキストマイニング 生存時間解析 情報活用演習等 質的データ解析 ベイズ理論 機械学習 空間統計</p>		
	【データ駆動型PBL演習科目】	統計科学系教員ゼミ	
	DS入門演習 DSフィールドワーク演習	DS実践価値創造演習 DS上級実践価値創造卒業演習	
<p>◆ データコンサルタント型</p> <p>進路：企業の財務経理/経営企画/マーケティング/生産管理、国、地方自治体等</p>	<p>【データサイエンス専門科目】</p> <p>社会調査法 品質管理 テキストマイニング 標本調査法 社会調査実践演習 データマイニング総論</p>		
	【価値創造基礎科目】		
<p>マイクロ経済学、マクロ経済学、経営学、簿記会計、財務会計、管理会計、証券分析とポートフォリオマネジメント</p>			
		【価値創造応用科目】（上記に加え履修） 各種領域分野における講義及び演習セット	
	【データ駆動型PBL演習科目】	応用領域分野教員ゼミ	
	DS入門演習 DSフィールドワーク演習	DS実践価値創造演習 DS上級実践価値創造卒業演習	

※「データ駆動型PBL演習科目」では、データサイエンスの専門知識とスキルを活用して価値創造を繰り返し、価値創造のノウハウを身に付けさせる。

## 国立大学法人滋賀大学学習アシスタント実施要項

### (目的)

第1 この要項は、国立大学法人滋賀大学の優秀な学部学生に対し、教育的配慮の下に、学部において教育への補助に参画させることを通じて、当該学生への教育効果を期待すると同時に、学部教育における学習支援機能を充実し、学習面における先輩後輩（学生）間の相互扶助文化の醸成を制度的にサポートすることを目的とする。また、これに対する手当を支給することにより、優秀な学部学生の就学支援としても機能することを目的とする。

### (名称)

第2 本要項により採用される者は、学習アシスタントと称する。

### (職務内容)

第3 学習アシスタントは、担当教員の指導・助言に従い、学部学生に対して実験、実習、演習等の教育補助業務を行うものとする。

### (公募及び選考)

第4 学習アシスタントの公募及び選考は、各学部ごとに行うものとする。

2 学習アシスタントの資格は、大学に2年以上在学して62単位以上を修得した者とする。ただし、適任者が得られない場合で、取得単位数及び成績から学部長が判断して特に優秀であり、当該学生の学習、授業等に支障が生じないと認める場合はこの限りではない。

### (採用等)

第5 学習アシスタントは、1週間当たり15時間を超えない範囲で従事するものとする。

2 学習アシスタントの雇用期間は、採用日の属する会計年度の範囲内で、職務内容に応じた必要な期間とする。ただし、採用に当たっては、当該学部学生の学習、授業等に支障が生じないよう配慮するものとする。

### (給与等)

第6 学習アシスタントには、時間給による手当を支給するものとし、その他の給与は支給しない。

### (実績報告)

第7 学部長は、毎年度の終わりに別紙様式による実績報告書を学長に提出するものとする。

### (その他)

第8 この要項に定めるもののほか、学習アシスタントに関し必要な事項は、各学部において定めるものとする。

#### 附 則

この要項は、平成17年4月1日から実施する。

#### 附 則

この要項は、平成18年4月1日から実施する。

#### 附 則

この要項は、平成23年6月15日から実施し、同年4月1日から適用する。

別紙様式（第7関係）

学習アシスタント実績報告書

学部名

学年	氏名	任用期間	週勤務時間数 (総勤務時間数)	支給総額	勤務部局	備考
		年月日 年月日 ～	時間 ( )	円		
		～	( )			
		～	( )			
		～	( )			
		～	( )			
		～	( )			

(注) 備考欄には、業務内容、選考基準、選考方法及び本経費の措置により得られた成果等を記入すること。

## 国立大学法人滋賀大学教育・学生支援機構規程

### (趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人滋賀大学学則（平成16年4月1日制定）第12条の規定に基づき、国立大学法人滋賀大学教育・学生支援機構（以下「機構」という。）に関し、必要な事項を定める。

### (目的)

第2条 機構は、滋賀大学の理念・教育目標に基づき、教育の質の保証及び学生の充実した修学・生活環境の実現を図ることを目的とする。

2 機構は、前項の目的を達成するために、各学部・研究科等の学内組織と相互に連携を図る。

### (業務)

第3条 機構は、前条の目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 全学の教育及び学生支援における総合的な企画、評価に関すること。
- (2) 全学の教育の推進及び学生支援の充実に関すること。
- (3) その他機構の目的を達成するために必要な事項に関すること。

### (構成)

第4条 機構は、第2条の目的を達成するため、次の部門を置く。

- (1) 教育推進部門
  - (2) 学生支援部門
- 2 次に掲げる組織は、前項の部門が業務遂行のために必要な情報の提供及び助言を行う。
- (1) 国際センター
  - (2) 高大接続・入試センター
  - (3) 附属図書館

### (機構長)

第5条 機構に、機構を構成する前条第1項の部門を総括するため、機構長を置く。

2 機構長は、教育担当の理事をもって充てる。

### (副機構長)

第6条 機構に、機構長の職務を補佐するため、副機構長を置く。

- 2 副機構長は、学長の指名する副学長をもって充てる。
- 3 副機構長は、機構長に事故があるときは、その職務を代行する。

### (機構会議)

第7条 機構に、第3条に掲げる業務について方針・方策を決定するとともに、業務の実施にあたり部門間の調整を行うため、機構会議を置く。

2 機構会議は、次に掲げる委員をもって組織する。



- (1) 機構長
- (2) 副機構長
- (3) 部門代表
- (4) 学務課長
- (5) 学生支援課長

(議長)

第8条 機構会議に議長を置き、前条第2項第1号の委員をもって充てる。

2 議長は、機構会議を主宰する。

(委員以外の者の出席)

第9条 議長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(教育推進部門)

第10条 教育推進部門は、機構会議が決定した方針・方策に基づき、学士課程及び大学院課程における教育改革並びにファカルティ・ディベロップメントを促進し、教養教育及び専門教育を充実させるための諸施策の企画、立案及び調整に関する業務等を行う。

2 教育推進部門は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 機構長
- (2) 学部から選出された教員 各1人
- (3) 国際センターから選出された教員 1人
- (4) 高大接続・入試センターから選出された教員 1人
- (5) 学務課長

3 前項第2号から第4号の委員の任期は、1年とし、再任は妨げない。ただし、欠員が生じたときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

4 教育推進部門に部門長を置き、第2項第1号の委員をもって充てる。

5 教育推進部門に部門代表を置き、第2項第2号の委員の互選により選出する。

6 部門長に事故があるときは、部門代表が、その職務を代行する。

(学生支援部門)

第11条 学生支援部門は、機構会議が決定した方針・方策に基づき、保健管理センター及び障がい学生支援室と有機的に連携し、学生の修学、生活、就職活動、課外活動等を総合的に支援するための諸施策の企画、立案及び調整に関する業務等を行う。

2 学生支援部門は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 機構長
- (2) 学部から選出された教員 各1人
- (3) 保健管理センターから選出された教員 1人
- (4) 障がい学生支援室から選出された教員 1人
- (5) 国際センターから選出された教員 1人

(6) 高大接続・入試センターから選出された教員 1人

(7) 学生支援課長

- 3 前項第2号から第6号の委員の任期は、1年とし、再任は妨げない。ただし、欠員が生じたときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 学生支援部門に部門長を置き、第2項第1号の委員をもって充てる。
- 4 学生支援部門に部門代表を置き、第2項第2号の委員の互選により選出する。
- 5 部門長に事故があるときは、部門代表が、その職務を代行する。

#### (部門会議)

第12条 各部門に、各部門の業務等に関する事項を審議するため、部門会議を置く。

- 2 部門会議は、部門の委員で構成する。
- 3 部門長は、部門会議を招集し、その議長となる。
- 4 議長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。
- 5 部門会議に、必要に応じ作業部会を置くことができる。

#### (事務)

第13条 機構の事務は、関係部局等の協力を得て、学務課において処理する。ただし、部門の事務は、所掌する課において処理する。

#### (雑則)

第14条 この規程に定めるもののほか、機構に関し必要な事項は、別に定める。

#### 附 則

- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 全学教育部会要項、全学共通教育部会要項、学生支援部会要項及び国立大学法人滋賀大学キャリア育成協議会要項は廃止する。